

---

# ぶあつい文化の壁にはさまって

鈴鹿美雪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ぶあつい文化の壁にはさまって

### 【Nコード】

N29360

### 【作者名】

鈴鹿美雪

### 【あらすじ】

海外在住十五年記念に、いまだに笑えたり困惑できる事柄を備忘録的に綴っていきます。

掌長さを意識したもうひとつのエッセイ「子供と言の葉ごっこ」のテーマには納まりきれないネタを、細かな説明と私自身の主観を織り交ぜ、ときどき重い内容も含めてゆっくり更新していきます。

13話から25話（予定）は尖閣問題から続く外交ラッシュで近代→現在に至る東亜関係に集中した話題になります。子供を育てる母

親として、知っておくべき日本の歴史や外交問題を、主婦の肌感覚  
でまとめるという無謀な試みです。

当国の人口比率は以下の通り。

ヨーロッパ系白人 78%、ポリネシア系先住民 14・6%、ア  
ジア系 9・2%、パシフィック系 6・9%

## たまごがけ御飯の受難

卵がけご飯は、西洋人の前ではいけない。

生玉子を食べることは、鳥肌が立ち、直視できないほどの嫌悪感を欧米人に与えるらしい。

ホテルのスタッフ朝食でそれをやって、総スカンを喰らった日本人従業員がいた。

彼らは、卵は半熟がいいのに、生玉子は駄目らしい。

単にキモチ悪いのだそうで、特に宗教的な理由はないそうだ。

だけど、

「I love Japanese food!」とかいいながら、巻き寿司にトマトソース（ケチャップの一種）をかけて食べたり、味噌汁にパンを浸して食べるこの国の人々の食習慣は、日本人として許せないものがある。

## ホテルルームアテンダントの憂鬱（前書き）

たまたま勤めていたホテルでこんな体験をした、という程度の小話です。

これが普遍的な国民性であるかどうかは、今後の調査を待ちましよう。

## ホテルルームアテンダントの憂鬱

台湾人の団体出発後、どの部屋の電気湯沸かしポットもごしごし洗う羽目になる。

かれらは、湯沸かしポットでインスタントラーメンを作って夜食にするから。

当国の電気ポットは熱伝コイルが中でむき出しになっていて、コイルにからまつたふやけた麺や葱を、手を突っ込んで洗うのは涙が出る。臭いと油っぽさが取れるまでがんばる。

韓国人の団体出発後、どの冷蔵庫もしばらく電源を切ってドアを開放しなくてはならない。キムチの臭いがとれるまで。

次の客がやはり韓国人団体なら、問題はない。

日本人の団体出発後、バスルームの掃除に時間がかかる。お湯をはってお風呂に入った後、残された垢の黒ずみと石鹸のカスが浴槽にしつかりと太い線になってこびりついているから。

床が水浸しになっているのは、昔に比べれば減ったと年配のルームアテンダントが言っていた。

「日本人が帰った後はティシューが大量に捨てられているのは何故か」と訊かれたことがある。

「日本人はティシューで鼻をかむからかな。花粉症も多いし」と応えた。

「もったいないねえ」

当国の人も、ティシューで鼻をかむけども、ハンカチを使うほうが主流だ。

ハンカチは手を拭くものでなく、鼻をかむためにあるらしい。

中国人については、彼らだけで連載が一本書けそうなので、ここ  
では省略する。

## ホテルルームアテンダントの憂鬱（後書き）

公共トイレには温風器が設置してあって、それで手を乾かすのだが、温風器のないトイレにはペーパータオルが設置してある。鼻をかむのにティッシュはもったいなくても、トイレで手を拭くのにペーパータオルを使う理由がよくわからない。

## 中国人に間違われる日本人の鬱屈

観光地に住んでいたとき、現地人（おもに白人）に「中国人ですか」とよく聞かれた。

「日本人です」と答えると、ほつとした顔をされる。

「私、中国人に見えますか」

と訊きかえすと、相手は首を横に振ってこう答えた。

「日本人だとは思ったけど、中国人は日本人に間違えられると怒るから（upset）」

そうなのか、とちよつと驚いた。中国人に好意的でない日本人も多いので、間違えられたら気に障る日本人もいるのではないかと気になる。

「日本人は中国人に間違えられて、怒らないの？」

「日本人は怒らない。気にしないみたいね」

「そうなんだ」

気を悪くしても、顔にも態度にも出さないのが日本人なんだ

よ　とは、日本人の私は言葉にもしなかった。

そんな空気はさらつと流した相手は、上機嫌でこう付け加えた。

「見分けつかないんだもんねえ。韓国人も、日本人と間違えると嫌な顔をするから、気を遣うよ」

日本人にも気を遣つてよ　と、やっぱり根が日本人の私は言えなかった。

最近の私は「フィリピン人ですか」とよく訊かれる。

この、紫外線の強い国に化粧もせずに暮らしていたら、南アジアな見た目になるのは仕方がないかも。

私は中国人もフィリピン人も嫌いではないけども、間違えられて決め付けられたら、あまりいい気はしない。でもそれを口にするこ

他のアジア人に対して偏見を持っていると思われそうなのでずっと黙って聞き流してきた。

釈然としない理由、それは「日本人の自分」のアイデンティティが否定された気がするからだとわかったのはずっとあとのこと。

イギリス人やオーストラリア人が「アメリカ人ですか」と訊ねられて、不快に感じるというのも頷ける。

ナショナリティとか、民族性とか、意外と自分の深いところで誇りにしているものなのだ。

それを憶測で間違えられたら、やはりいい気持ちはしない。

最近では、アジア全域・オセアニアから移民が増え「アジア人」中国人」の認識から脱却しつつある。

国籍不明、民族不詳の相手に対して憶測で決め付けず、「何人ですか」「どちらからおいのですか」と率直に訊ねる、礼儀を備えた世代が増えているのはいいことだと思う。

それにしても、最近の国際競技を観ていると「人種」出身国」でないことを実感する。

卓球の世界選手権の準決勝なんか、世界中の大陸から集まった最強の中国人の饗宴ではないかと思う。

## デンプンによる日韓の粘着

お隣同士のときは仲が悪いが、故郷を遠く離れると公約数の多さで親しくなるものなのだろう。

なんといつても、韓国と日本は短粒種の米が主食という、この広い世界にたったふたつしかない国なのだ！

前世紀の後半、日本の米作は江戸時代なら飢饉になりかねない不作の年となり、日本政府は緊急でタイから米を輸入したが、長粒種の米であったために調理法がわからず、贅沢になれた日本国民は買わない、食べないという、非常に不遜で傲慢な対応をした。

捨てられた大量のタイ米を見て、母に「お米の一粒一粒には、七人の神さまが宿っている」と洗っているときにこぼした米の一粒まで拾うようにしつけられた私は、タイのお百姓さんがこれを知ったらどう思うのだろうと、とても心が痛んだ。

だからといって、舌に合わない長粒米を我慢して食べることはないのではないかとも思った。とりあえず買ってみたタイ米は無駄にしないように食べきり（私は本気で神さまとお百姓さまの祟りが怖い）その後はパンを食べていたのだけだ。

当国に来てすぐにホームステイしたのは広東系シンガポール人の家庭で、毎日中華三昧だった。日本人学生ほとんどが当地の大雑把で、動物性たんぱく質に偏った油脂過剰の食事に慣れずに和食シツクに苦しむ中、私は毎日おいしすぎる中華料理を堪能していた。だけど、ある日、自分がどれだけ日本の米に餓えていたか思い知る事件が起こった。

日本人、韓国人、中国人、台湾人、マレーシア人、e t cの集う英語クラスで、お国料理交流会が開かれた。

そのとき日本人生徒勢が出した料理は麺類だったような気がする。そして、日本人生徒たちは、韓国人主婦の提供した白いジャポニカ米の炊きたてご飯に群がったのだ。

私は海苔だけでおかずも食べずにご飯ばかりおかわりしてしまっただ。

その韓国人主婦は

「短粒米はこつちでは嫌われてるからあまり用意しなかった。日本人がそんなに喜ぶならもつともつてくれれば良かった。こんどうちに食べにおいでよ」

とつても親切に申し出てくれた。

ホームステイ先のホストマザーは、その学校の事務をしていたので、その話を伝え聞いたらしく、

「日本米が食べたかつたらいつでも言ってくれれば買ってきたのにとも言ってくれた。

私はホストマザーに

「あなたの中華料理があんまりおいしかったので、日本米が恋しかったことも忘れていたんですよ」

と応えた。それは真実ではあつたけど、こちらに来てすぐ、日本米がかつての日本におけるタイ米ほどに不人気で、中国人とか、この国の現地人が「日本のお米はべとべとしてまずい、気持ち悪い」と言っているのも知っていたので、あえて日本米が食べたいとは言わなかったのだ。

巻き寿司は昔から人気があつたけども、当時はお握りや普通に炊いた日本米のご飯はまだ一般に浸透してなかった。

ちなみに、我が家の主食はオーストラリア産の短粒米だ。

夫も子供も、ジャポニカ米が一番おいしいと思つている。たまに長粒米を買つてくると「まずい、臭い」と文句を言う。

「まずいんじゃないくて、慣れないだけだよ。中華テイクアウェイの

チャーハンはおいしいって食べるじゃん。匂いだって、これがいい、  
って買っていくひとのほうが世界では多数派なんだよ」

「そうだけど、白いままで食べるんなら日本米がいい。半分日本人  
だから」

都合のいいときだけ日本人になるうちの子たち。

いまでも、韓国人のトモダチと集まって食べた当時の短い米のパ  
ーティを温かく思い出す。あときは、もっちりした白いご飯を食  
べたかったら、炊飯器のある家に集まるしかなかったからだ。

こんなにおいしいのにねえ、とつたない英語で交流しながら海苔  
を巻いて食べた。

漂流先で、言葉が違う、歴史上は対立した民族同士が集い、同じ  
ものをおいしいと思う。

味覚を共有するということは、相互理解への最短距離なのかもし  
れない。

## バイリンガル教育の困難

長女が小さいときはバイリンガル教育に熱心だった。

五歳で小学校に上がるころには、アルファベットと同じくらい、ひらがなのよみかきができていた。当時は経済的に多少の余裕があったので、「しま ろう」などの通信教育もやっていた。

そんなある日、日本語教材をやっていた長女が突然

「なんで、日本ってみんなみんなサカサマなの！」

と、投げ出すように叫んだ。

「え？ お母さんから見たら、英語の方がみんなサカサマなのよ」

姓名の並び方が逆。

文法の語順が全部逆。

郵便あて先住所の順番が逆。

掛け算の前後が逆。

二桁代の数字の読み方が逆。

本の表紙の前後が逆（縦書きの場合）。

年月日表示の順番が逆（国によって多少の違いがあるけども）

まだ他にもいくつあったような気がする。

これだけ、ものの考え方や受け取り方、記録の仕方が前後左右上下裏表が真っ向から対立するのだから、相互理解なんてある意味不可能。

どっちがサカサマで理不尽なのか、拗って立つ側面から決めればいいこと。

常識とか、非常識とか。どっちがどっちでも、まあ、慣れるしかない。

ところで

言語とは関係ないのだけど。

当地には、南半球が上になった地球儀や、南極が上に来ている地球儀とか、お土産用に販売されている。

## 差別発言という舌禍

私自身は、幸運なことに日本人だから差別されたという体験はない。

外国人の少ない地域で、買い物先やカフェで無愛想な態度をとられたことはあるけど、それは私の訛りの強い英語が通じないために相手の忍耐力が足りなかっただけのこと。それは差別でなく、その人の人柄の問題。

逆に「誰それに意地悪された」などと人に言っていると「あの人、人種差別主義者だったの？ ひどいわね」と逆差別を引き起こしかねない。「いや、単にそりが合わないからだと思う」とかえってかばうはめになる。

表向き、人種差別は「悪」だ。うっかり口にするると逆差別弾劾という返り討ちにあってしまうので、多数民族の白人たちは他民族に対する反感や鬱屈は、家族や同族の間でこっそりブラックジョークでもまぎらわすしかない。

ときどき都市部では移民たちに対する不満が噴き出して入るようだけ。

先日も、テレビの有名人が公然と某アジア大国の政府要人の名前を嘲笑ったとかで国際問題になり、辞職に追い込まれた。あとからそのニュースを聞いた私は、ゆうちゆうぶで槍玉に上げられていたそのトーク番組の問題発言部分を観た。他人の名前を嘲笑ったこともだけど、その名前をネタに公然と差別発言を繰り返したのが非常に不愉快に感じられた。

白人たちの本音をそこに見たような気がした。

私の家庭も、とても薄い玉子の殻の上に築かれているものだと。

その要人の名前そのものは、確かに英語圏の人間が聞いたか目にしたら一瞬固まってしまふような対応に困るものだ。良識のある人なら顔にも態度にも出すまいと努力するだろうし、浅慮な人は失笑するだろう。野卑な人なら声に出して、英語よりの発音でからかいのタネにするだろう。

私は誰もいない部屋でネットでその名を知ったから、表情や反応の選択に困ることもなく「おおお」と画面に向かって思わず呟いてしまった。

夫など「みんなが思っていることを口にしたただけだろ」で「別に興味ない。オレ、そもそもあいつ（そのTV有名人）嫌いだし、xxx人も好きじゃない。関係ないよ」

ほんとうにどうでもよさそうに話題を変えたがった。

これが一般多数の白人たちの感想と違って差し支えないと思う。

そのTV番組では、他にも二人の白人出演者がいたのだが、対応に困って二通りの反応をしていたのが印象的だった。ひとり（男性）は「良識的」に正しい発音を繰り返し「彼」を諷め、この話題を終わらせようと努力し、もうひとり（女性）は苦笑いを浮かべるだけで一切の発言を控えていた。

いつもは他民族がランダムに出演する、日本で言えばワイドショー的な番組だが、その場面ではたまたま三人の白人しか出演してなかった。ここに他の人種民族がいたらどういふ展開になったろうかと想像するのも興味深い。

日本人の名前でも、英語や他の言語にするとんでもない単語を連想させるものはあるので、他人事ではない。また英語の音が他の国ではちよつと口に出せないものを連想させたりなど、世界中どの言語間でもありえることだ。

そういえば、日本のアナウンサーがオリンピックで某出場国を某精力回復剤の名前と間違えて公共のデンプに乗せてしまったという

話を聞いたが、ここでも同じようなことが起きていた。ある会社は、社名がその薬品の名前に似ていることを逆手にとって、覚えやすい名前だろうとわざわざ宣伝に使っていたんだから商魂たくましい。

A国では普通の言葉が、B国では口にするのも憚られる恥ずかしい言葉に似てしまうその名が、本人にとってはとても神聖で重要であることを慮ることのできる、誰もが「異なる文化を尊重」した「良識」のある「オトナ」の対応ができる、真の「国際」社会がいつか実現する日を祈るばかりだ。

## 差別発言という舌禍（後書き）

英語ではないけど、先住民の言葉では私の名前は「眠り」とか「夢」という意味になるらしい。

「美雪（本名ではない）にぴったりだね。いつも眠そうにしてるもんね」と言われた。

## 灰色市民の葛藤

とても面白いブログを紹介してもらい、はまりこんで読み込んでしまった。

アフリカ・東西アジア・南米・一部欧州を渡り歩いたその方は、それぞれの社会や主に性風俗のことなど書かれているのだけど、箱の外から見た日本をとりまく政治状況なども、わかりやすく書かれていて、興味深かった。

その中に「在日が帰化するのなら日の丸に忠誠を誓って日本人になる宣言をさせるべき」という発言があって、なるほど〜と思った。アメリカはそうだもの。

星条旗に向かつて、おのれの民族人種起源がなんであれ、合衆国民としての義務を最優先させることを誓わされるんだ。

まあ、アメリカはそうでもさせないと国が広すぎて移民が独立しちゃうからかもしれない。

ひるがえって当国の移民・帰化事情。ワタクシ、この国に移民しているものの。

実は

国籍は日本のままで、市民権は取得してない。

パスポートも「日本國」のまま。

でも

参政権もあるし。学校も一般資格や大学受験資格を補填するための義務教育（高校課程含む）をただで受けなおすこともできる（英語で単位を取る必要のある科目など）私はこれで商業簿記の日本では3級にあたるものを「ただ（事務費のみ自己負担）」でとった。

失業手当ももらえるし、離婚してもシングルマザーとして生活保護も受けれる（審査は普通に厳しい）、年をとれば年金もいただけ

る。日本の国民年金を払ってないので、いまさら帰国しても年金も  
らえないわけで、選択の余地なくこっちで骨を埋めるしかないの  
で

すが。  
私の滞在資格は「永住権保持者」であり、出身国の国籍を維持し  
たまま、当国の市民待遇を平等に受けられる、非常においしい立場  
だったりする。

当国はアメリカと同じ多民族国家のだけど、移民たちの民族性  
を否定せず、国家そのものへの忠誠も「別に」期待しているわけ  
もないようだ。徴兵制度もない。

中国人は中国人。インド人はインド人。みんな自分勝手にそれぞ  
れのやり方で生きている。

ピザ屋でベーコン入れたの入れないので訴訟を起こしたりするイ  
スラム教徒が、ちよつとうつとおしい気がしないでもないけれど

お金があつて高い教育を受けたアジア移民からはお金と技術を。  
難民枠で移住してくる人々には労働力を。

出すもの出してくれたら、分け隔てなく住む場所をくれたりする  
こんな国も、ちよつと珍しいかもしれない。

と言うか。この国ちよつと変だなと思うこともある。

国勢調査や学校の書類、パスポートの申請欄に記入者の起源とな  
る民族を記入する欄があるのだけど。

「ヨーロッパ系白人・先住民・サモア人、トンガ人などパシフィッ  
ク、中国人、インド人、そのほかアジア人……」と、選択欄に「当  
国人」の欄がない。

この国で生まれ、この国の言葉と文化しか知らないうちの子供た  
ちなんて、肌の色とか関係なく、どの選択肢にも当てはまらない「  
当国人」なのに。真の国民のいない国なのか。

とにかく

どんな移民の受け入れ方が正しいかとか、それぞれの国の歴史や宗教、民族構成のバランスや、政治体制によるので、一概にはいえないけれど。

移民する側にとって居心地がいいのは、自分のアイデンティティを否定されることなく、それでいて社会の一員として認められ、義務も責任もバランスよく果たせる社会ではないかなと思います。

結婚の話をしたとき、あまり深く考えずに夫にこう言ったことがある。

「この国の国籍をとつたら、人にならないといけないねえ」

（ は当国の名前）

すると夫は私の言葉に驚いて、こう言い返した。

「どこの国の市民になろうと、あなたが日本人であることは変えられないし、変わらない」

上記のブログ記事を読んでさらに、日本に帰化したいのに両親が許してくれないと悩んでいた在日韓国人の友人を思い出す。

日本にいたとき親しくしていたその友人は生まれも育ちも日本。韓国語より日本語のほうが自在で、たまに韓国を訪れるたびに日本人寄りの感性を持ち合わせていることを発見し、常にアイデンティティクライシスを抱えて生きていた三世の彼女。ちなみに結婚を考えていたボーイフレンドは日本人。ところが、彼女の両親は、娘たちが日本人と結婚するのに大反対。在日男性の見合い相手連れにくるものの、選択肢が狭すぎてどれも気に入らないと、それもまた彼女の悩みの種。日本人の交際相手がいて、向こうの家族が気にしてないのなら、無理に在日同士で結婚する必要もないだろうに。

彼女のさらに深い悩みは「花嫁衣裳は純白のチマチヨゴリを着たい」という夢を日本人の彼氏に言えないことだった。

私だって、こっちで結婚したときは、白無垢綿帽子や文金高島田

を泣く泣く諦めたんだから、彼女の葛藤とか悲しみとか、すごくよくわかる。

移民の底辺庶民が大事にしたいアイデンティティって、そんなつましくて、切実なものなんだ。

## 灰色市民の葛藤（後書き）

そもそも結婚式を挙げませんでしたねえ。

夫も私も無宗教ということで、役所で結婚の誓約をあげただけ。

というわけで、ウェディングドレスも着ませんでした。

## 在外日本女性は気が強いという誤解

「海外に住む日本人女性は自己主張が強い」

いえ、別に否定しませんけど。

「日本社会で受け入れられない自己主張の強い女が、海外へ現実逃避している」

まあ、そういう人もいるかもしれませんが。

そもそも私が日本をふらつと出てきてしまったのは、30の声が聞こえてきた私に、しきりに見合いを勧めるおばさまがいて、

「どんな相手ならいいの？」

としつこく訊くので、

「子供が生まれても共働きができるように家事ができて、私と似たような趣味を持つ男性」

と正直に応えたところ、

「あんた日本じゃ一生結婚できん」

って言われたから、

「日本にはいないの？　じゃあ、ちょっと外国はどうなのか見てくる」

これも自己主張なのか。

私が家事育児に積極的な男性を求め（ることを主張し）たのは、二年ほど在宅介護ヘルパーをしていて、家事のできない、子育てに参加してこなかった男性の悲惨な末路をつぶさに見てきたからなのです。夫になる人が、ひとりでは何もできない、子供たちに見捨てられてしまった呼吸するだけの廃棄物になるのは嫌なものです。

経済的にも、人間としても、夫婦それぞれ自立していたほうが支えあうのに無理がないと思うだけで。

で、放浪中に見つけたのがいまの夫。

この国では家事のできない男は、結婚どころかガールフレンドもできないとかで（笑）条件の適う男性がざくざくごろいきました。しかも、当国男性の家庭参加率の高さは世界的に有名だったらしく、日本やスイス、オランダなど男尊女卑の国々から女性たちがハズバンドをゲットするために訪れるとか。知らずに立ち寄った私には瓢箪から駒。

でも  
本音を言えば日本に帰りたかったのですがねえ。

夫が日本語を話せないので、私がこちらに残るしか選択肢はなかったわけです。

……主題から脱線しましたね。

それにしても、在外の日本女性は気が強いつて、男性はどうなの？とか反論したくなるんです。

日本の男性だってたくさん海外に住んでいるのに、そういうことは話題にならないんですよ。不公平です。

海外にすむ日本人男性は「開拓精神が豊かで国際的」とか言い出すんですか。

それって、裏を返せば「気が強くて自己主張が強い」ってことじゃないのですか？

ああ、どうでもいいようなことで自己主張してしまいました。  
すみません。

私の知っている在外日本人主婦でも、控えめで穏やかな方は大勢いらっしやいます。

英語の上手下手とは関係なく、バリバリ活躍される方もおられれば、目立つことに関心なくつつましく暮らしている方も。

どちらも、生まれ育った環境を遠く離れて生きることを選んだ人達なので、何かあると驚くほどの粘り強さを見せてくれます。地理的にも、簡単に「気に入らないから里に帰らせてもらいます」なんて強気発言はできない立場で、毎日が「背水の陣」です。そばに相談できる相手がいるわけでなく、忍耐力だって要求されるわけです。静かに見えて芯の強い、大和撫子健在ですよ。

（あ、私は例外ですけどね。もともと細かいことが気にならないたちなんです。もうただ単純にこっちの「水」が日本のよりも体質に合っただけで）

たまに日本人に会うと、懐かしさから機関銃のように日本語を喋ってしまつ、老婆心から現地情報を訊かれもしないのに教えたくなる、ということはあるかあるので、必要以上に自己主張が強いと取られることは、あるかもしれませんね。

でもですね。

気の強さがどう、と言われると……。

私、日本ではいつも同級生・友人・同僚・上司・近所のおばさん、親戚のおばさんなど、気の強い女性たちに小突き回され、泣き寝入りしてきましたよ。

子供のときはいつも押し入れに隠れてめそめそしてました。

社会人になつたらなつたでお局様に睨まれて、いじめぬかれても貴重な正社員の座を諦められず、針の筵に耐えた日々も。

観光で当地にいらっしやる奥様方とか……（黙）現地スタッフが日本人だとわかると、急に高飛車になるのはなんなのでしょうねえ。実家では義姉に頭が上がりません。

そつという意味では、日本の中でも外でも、基本的に女性の強さに変わりはないと思います。

そもそも男尊女卑という思想そのものが、精神的には男性よりも強い女性を抑圧するための、男性陣の戦略なのではないでしょうか。

大和撫子の真の強さを体現した女性でしたら、源義経の愛妾だった静御前を一番に思い浮かべます。

鶴岡八幡宮の奉納舞いでさらしもの状態にされながらも、最高権力者の頼朝に媚びることなく、反逆者であり逃亡中の夫を愛しい恋しいと、公衆の面前で昂然と歌い上げたあの強さ。

命賭けの自己主張。憧れます。

日本女性として、静御前のように誇り高く、強く、愛に生きたいものです。

## 在外日本女性は気が強いという誤解（後書き）

十年もしないうちに、日本では家事をする男性が急増して、珍しい存在ではなくなったそうですね。

たまに会う日本人の若い男性が、さくさくと掃除洗濯料理をさせているのを見ると、「早まってしまった」と、なんか悔しいです。

## キリスト教における矛盾（前書き）

予約日付を間違えて、下書きのが更新されていたのに気づきませんでした（汗）

いまさら下げのもどろかと思えますので、このままに。  
誤字脱字、意味不明文がありましたらご一報お願いします。

## キリスト教における矛盾

当国は「一応」キリスト教国だ。公立の小学校でも週一回、聖書の時間がある。キリスト教徒でないという理由で拒否することも可能で、うちの子供たちは聖書の時間は図書館で過ごす。

ママ友から「別に聖書を学ばせても害がないんじゃない？」と言われたこともある。

聖書にはいいことも書いてある。だけど、それだけを教えるのは片手落ちだと思うから、宗教は子供たちがいるんなことに疑問を持ち論理的に考えられる年齢になってから学べばいいと思うだけだ。だから、そう答えることにしている。

「神さまに頼らなくても、自分の意志と力で自分や家族を幸せにできる人間になって欲しいしね」

「美雪はそうなの？」

「たぶん。それにねえ。キリスト教には学校や教会では絶対に教えないことで、ひとつだけどうしても納得できない部分があるの」

「何？」

「ジーザスはユダヤ人でしょ」

「そーいえば、そうだけど」

「ジーザスが救済しなかったのは、当時、ローマとローマの言いなりになっていたユダヤ指導者の圧政に苦しむユダヤの民だったんだよね」

「うーん、そうかもしれない」

「でも、彼の作り出した宗教思想が、ローマ帝国の国教になったおかげで、二千年に渡るユダヤ人迫害の原動力になって二十世紀にはナチスによるユダヤ人虐殺の歴史に繋がるわけよ」

「そう言われてみれば……」

「ジーザスは草葉の陰で泣いているんじゃないかな」

「……かもね」

「子供たちには宗教よりも、歴史を先に学んで欲しいのよね。人の運命を決めるのは、神様じゃなくて、ひとりひとりの人間だってことも」

パートで働いていた葡萄園で、ユダヤ系アメリカ人のバックパッカーがいじめられていたのを目撃したあたりだったので、差別はなくなっていないんだなと思った。

ちょうどアメリカのイラン侵攻に重なっていて、アメリカの他国への内政干渉じゃないかと批判されていた。アメリカ人であることで非難され、ユダヤ人であるために嫌われる。しかし、彼女が疎まれたのは、博識多弁超マイペースのアスペルガー気質が一番の理由ではなかったかと分析する。三重苦というやつか。

あの当時いつも同じグループで葡萄園で働いていたのは、そのアメリカ系ユダヤ人学生の彼女と、日本人の私、ドイツ人看護婦のバックパッカー、地元の風来坊な男性の四人組。  
奇天烈で、とても楽しい組み合わせだった。

そのユダヤ人の彼女は、私の東洋的な宗教観や世界観を訊き出すのが好きで、いろいろ質問してきた。彼女の診断によれば、私は「ダーウイニスト」だそうだ。

「私は別に、進化論者じゃないけど」と反論する私に

「ダーウイニズムは進化論だけじゃなくてね××××××（以下理解不能）」

ユダヤ人は優秀な民族だというけども、あまり賢いのをひけらかしてはトモダチができないという見本。

でも、彼女は反ユダヤ派が宣伝する「傲慢で独善的な典型的ユダヤ人」には当てはまらない。

普通に善良。しかもバックパッカーとして世界を渡り歩いてきた彼女の話はとても面白かった。飼い犬と食べ物と前夜に見たメロドラマの話しかしない葡萄園労働者の中で退屈していた私には、とても新鮮な出逢いだった。

## 捕鯨反対運動の槍玉にされたときは反撃

以前、日本人であることで差別された経験はないと書いたが、もしかしたら一度あったかもしれない。

いくつかの葡萄園が集まって懇親カーリング大会のあと、レストランを借り切ってディナーパーティーとなった。

食事が終わってお手洗いに立ったとき、通路で突然話しかけられ「日本人はすぐに捕鯨をやめるべきだ！」

と責められた。

「わたくしに言われましても……」

酔っていたみたいだし、口論したくないし、私には直接どうしようもないことなので謝る筋合いでもない。

困っている私を見かねた人がその男性を追い払ってくれたけども、基本的に周り中が反捕鯨なので居心地は非常に悪かった。

## 四面楚歌。

でも一番悔しかったのは、英語力のなさもだけど、反論する論拠を何も持たなかったことだ。

当時の日本人は（もしかしたら今も？）私を含めて捕鯨反対運動がここまで盛り上がっていることにまったく無知無関心で、こんな風に突然槍玉に上げられてびっくりしたものだ。

日本国内でニュースに取り上げられることがなかったし、鯨が庶民の口に入らなくなって、まったくもって他人事なのだから。

それまで、当国のニュースでときおり取り上げられる捕鯨反対運動を見るたびに、なんでかなあと針のムシロだったのだけだ。

たいていのことは親日家の夫でさえ

「日本は捕鯨やめればいいのに」派なのだ。

当時の私は

「クジラはいけなくて豚や牛はいいのか」  
くらいのことしか言えなかった。

穩便を尊ぶ日本人として「そんなに世界が反対するのなら、金持ちしか食べられない鯨なんか獲らなくてもいいんじゃないかな」とも思っていた。

『アルテミス・フォウル』というアイルランド人作者の児童文学でも、日本の捕鯨反対が物語に盛り込まれていて

「アイルランド人が書いている話なのに、なんで鉾先が近所のノルウェーやアイスランドじゃなくて日本なんだ！」  
と釈然としない怒りが溜まっていった。

あの夜の理不尽な糾弾のときに感じた戸惑いはいつまでも胸のつかえになって、その後、ネット環境が自在に使えるようになっていろいろ調べた。

わかったこと……捕鯨反対団体は胡散臭い。

グリーンピースやシェパードのやっていることはテロリストと同じ。犯罪行為。これについては夫も同意していて「あいつら頭のおかしい連中」と断言している。

捕鯨反対理由その一が感情的……宗教観の違い。

捕鯨反対理由その二が曖昧……鯨の生存数、絶滅の危険性について、双方の言い分が食い違う。どっちも信用できない。もっとも追跡精度が高いのはアメリカの衛星からの観測記録だろうけど、捕鯨反対側のアメリカの提出する数字なんか改竄がないとはいいい切れない。

捕鯨反対運動には波がある。

捕鯨反対運動が一番盛り上がっているのはオーストラリアで、他の国はなんとなくフォロワーしているだけ。

これは、結局、中国や韓国が自国内で対処しきれない問題が持ち上がったたり、政府に対する国民の不満が沸騰してくると、国民の関心を外に向けるために日本バッシングをするのと同じ現象ではないか？

オーストラリアは、いまだに人種差別が問題になっている国のひとつだ。同じ白人のノルウェーやアイスランドを責めないで日本ばかり攻撃するのは、日本がアジア人の国だからか？

もしかして、鯨を隠れ蓑にした人種差別？

本当の意味で鯨を食い物にしているのはどの国なんだ！

日本はいいかげん、殴られたら殴り返したらいいんだ！

それで戦争になって収容所に送られても、恨んだりしないよ。私は。

「鯨は知性のある生き物だから食べちゃいけない、殺しちゃいけない、でも兎やポッサムは害獣だから一日に何万匹も虐殺していいって、どういう傲慢さなの！ しかもあんたたちは狩猟をゲームとして遊びでやっている。虐殺された何千何万という兎は肉も毛皮も利用されることなく無駄に腐っていくだけじゃない。地球に生きるそれぞれの命の重みに人間の利益や感情を持ち込むことが正しいことなのか」

いつかまた糾弾されたら反論しようと思って台本を書いてあるんだけど、あれから一度も個人的に非難されたことはない。

でも、練習は欠かさない。練習台にされている夫は「日本が鯨をとりたければ日本の領海内でやればいいじゃないのか」あたりまで

譲歩している。私も、日本がそうしてくれたらいいなと思う。

北半球の日本が南極海まで来るから、気持ちを逆撫でされる国もあるかもしれない。

当国は心情的に「鯨は獲って欲しくない」でも「日本はお得意様だから怒らせたくない」でも「オセアニアで一番、力を持っているオーストラリアにも逆らいたくない」

だから、実力行使に出て日本を叩くG Pやシェパードのメンバーに自国民の名前が出ると、政府あたりは戦々恐々とした空気になる。

## 捕鯨反対運動の槍玉にされたときは反撃（後書き）

でも、本当に鯨が絶滅したら良くないと思うので、日本は鯨数の調査をしっかりとお願いしたい。

## ガンバレニッポン

母と電話で話をした。

「中国がねー、日本の旗を焼くんだよ」と、悔しそうな母。

私の地元S県の公式サイトが中国のハッカーの攻撃を受けて一時閉鎖になったとか。

尖閣諸島騒動の尻馬に乗って関係ない竹島問題まで蒸し返している隣国とか。

なんでうちの県が矢面に？

日本で二番目に地味な県なのに（十年前のセンサス）  
過疎県で人口が少ないから、防衛が甘いと思われてる？  
そういえば白兔が渡ってきたのもこのルートだったか。

上陸地点は隣県だったけど。

でも日本の中では神口密度が一番高いんだ。バチが当たるよ。

母を励ます。

「中国つて、ジャイアンみたいね」

「ドラえもん？」

「うん。ツネオが韓国で、日本がのび太」

励ましにはならないなと言ってから思った。

「ドラえもんは？」

と母。私はうーんと唸って。

「アメリカかな？」  
「沖繩から出て行かれたら困るね」  
「こんなおいしいときに出て行かないんじゃない？ 内政干渉が三度の飯よりも好きな国だし」  
「……」

慰めにすらならない。

話を聞いて、ニュースサイトを読んだけども。

なんか、低次元の喧嘩というか。唾の吐きあいというか。

このままでは、東亜三国は世界の笑いものになってしまいそうだ。

台湾に静ちゃん役を引き受けてもらい、引きずり込むという手は有効だろうか。

ちなみに、当国で通った英語コースの先生は台湾人だった。

すぐきれいな発音で流暢な英語を話すひとで、まったりとした落ち着いた人だ。

ちやきちやきタイプの広東系シンガポール人で、私のホームステイマザーだったAさんの「私はチャイニーズよ」と朗らかに言い切ったのとは対照的に、その先生は「私はチャイニーズじゃないわ。<sup>タイワニス</sup>台湾人よ」と断言した。

いやでも、ふたりとも漢民族でしょ。話す言葉は違うにしても（広東語と北京語）

台湾の国の正式名は「Republic of China」

あつちもこつちも複雑すぎる。

ちなみに同じ学校に勤めていた上の二人の会話は英語で、中国本土に特に愛着も関心もないという点で一致していた。

## ガンバレニッポン（後書き）

韓国のパクリ体質について私の見解。

「韓国はヤンデレじゃないかと思う。日本はへタレだな」と言ったら、母（70歳）「それは日本語でどついう意味かね？」と聞き返された。

## カミングアウトの覚悟

もう十四年前になりますが。

夫と出会って、季節滞在者の利用するキャンプグラウンドのクラブ（小さな家）に暮らし始めたときのことです。

毎朝、朝食の片づけをしていると、台所の前の小路を歩いてゆく颯爽とした二人組みの青年たち。

どちらも、今で言うところの「イケメン」

目の保養だなくときめいて眺めていました。

ある朝、仕事が休みで朝も家にいた夫にばれないように、こっそり外を見ながら皿を洗っていると、見つかってしまいました。台所にいきなりやってきた夫に不審そうに追求されてしまう。

「なににやけてるの」

「え、にやけてますか？」

気味悪いですよ。窓から外を見てにやついていたら……。

で、遠ざかり行くロングコートの二人づれの背中を指さして。

「いや、なかなか鄙ひなには稀まれなハンサムな若者たちで。眼福」

「……でも、知らないのか。あいつら、ゲイだぞ」

この後の私の反応を、夫は理解できなかつたことでしょう。

私は「ほ、本物？」と、顔が笑いそうになり、鼻血でも出してしましように両手で顔を覆ってうつむいてしまいました。

のような反応をするオンナノコを「腐女子」と日本文化がいつから分類し始めたのか知りませんが、昭和時代にはそれほど特別でも異様な存在でもなかつたんですねえ。

トーマの心臓（萩尾望都氏） 風と木の詩（竹宮恵子氏）

エロイカより愛を込めて（青池保子氏） 摩利と新吾（木原敏江氏）

夢の碑（木原敏江氏）

普通に少女マンガ。というより、少女漫画歴史上の名作たち。

漫画少女なら、誰もが通った道ではないかな（たぶん）。

「エロイカ」はドイツ連邦軍でも好意的に受けとめられているとウィキには書いてありました。

小説では、さりげなくフォモキャラの出演する故栗本薫氏とか。

ここを通って三島由紀夫に傾倒した文学少女も少なくないのです。それが今では少女漫画・小説界から分離して独立した盛況市場になっっているんですね。

しかも昭和時代とはぜんぜん違う方向に邁進中（啞然）

まあ、とにかく美青年ふたり組み観察なんて趣味は誰にも言えないことですが、それからさらに朝の眼福タイムが楽しみなっていました。手とか繋ぐんだろうか、なんて期待したり……。今で言う「萌え」っていうやつですか。

ちなみに二年位前にネットで腐女子診断というのをしたところ、腐女子度は30度と出ました。それほど高くなかったです。

でも、とにかく驚きましたね。映画なんかだと、リアルの方たちはキリスト教社会ではたいへんな差別をされている印象を受けていたのですが、当国では明治時代の日本なみにスルーされているようです。

映画「モーリス」では、前世紀のイギリスにおいてゲイであることが発覚すると投獄され、それまで築いてきた社会的な地位もみんな失ってしまうし、アメリカの「ブロークバックマウンテン」ではなぶり殺しにされちゃうんですが。現実にもつい最近、アメリカの田舎街でゲイであることをカムアウトした少年が教会に連れて行か

れて「エクソシスト」の名の元に暴行されたとかで、ゆうちゅうぶに投稿して助けを求めていました。

そうした事件はこの世界の話かと思うほど、こっちは同性カッブルに対して大らかです。

さらに驚いたことに、同性間の結婚も法的に認められているんです。

国勢調査だったとおぼろげに記憶していますが、公式書類の配偶者の欄にですね、配偶者が異性が同性か記入するところがあつて。

「ええええ？ そんな何気に『さくつ』とお訊ねに？」

それ以前に、当国では結婚と事実婚（日本で言うところの内縁関係）はまったく同じ扱いなんです。細かいことは忘れましたが、たしか、一定期間を一緒に暮らしていれば異性・同性にかかわらず、「De Facto: 事実婚」といつて法的に結婚の手続きをした夫婦と同じ伴侶としての権利と義務が発生するのです。

つまり、結婚してなくても別れるとなると子供の親権や、財産の平等分配とか、法的な手続きが必要になるのです。

「じゃあ、結婚しなくても、一緒に暮らしてたら永住権もらえんたんじゃん」

と夫に文句を言うつと。

「デ・ファクトが認められる必要期間を満たす前に、君のビザは切れてたでしょう。外国人にデ・ファクトが適用されるかどうかも知らないし。第一君と僕の場合は伴侶であることを証明するような手紙のやりとりも、証人になってくれるような親戚や近い友人もいないでしょ」

と、指摘された。

これについては、今では当時とは法律や手続きの仕方が微妙に変

わっているかもしれないんで鵜呑みにしないで下さいね。当の書類がもう手元にありませんし、なんといつても同性と結婚したことないので、細かい質問にもお答えしかねます。

で、日本のBL畑のネット友さまに「日本じゃ同性は結婚できないんだよね」と確認したところ「養子縁組」の「親子認定」でもって財産の相続権問題は解決するらしい、と教えてもらった。

つまるところ、婚姻とか、家族の手続きってのは、お金の問題なのでですね。

当国は離婚率も再婚率も高く、同棲のまま結婚せずに子供を作って家族になる人が多いのでそういう民法になっているのでしょう。だから同性婚もなし崩し的に包含できたのではと推測。

はたとあたりを見回すと、夫婦別姓の「デ・ファクト」ファミリーの数が結婚組よりも多いような気がします。結婚してない夫婦は相方を「妻・ワイフ、夫・ハズバンド」と言わずに「パートナー」と紹介するので、それで第三者には区別ができます。子供は父方の姓を名乗ることが多いようです。

## カミングアウトの覚悟（後書き）

読者さまの多くは否定されるかもしれないけど、日本人って、誰にでも腐傾向があると思うんですよ。

だって、

日本人が愛して止まない我が国史上最古のヒーロー日本武尊。

女装の美少年が、髭むさいオヤジをバックから襲って……

ー；；ゞ 以下、残酷表現につき自己責任でお読みください。

お尻から剣を刺し貫いたんですからね。

これが大和朝廷の公式の史書に記され、弥生とか古墳時代あたりから人気のある英雄譚として連綿と語り継がれているという事実。ああいう死に方を二千年（大雑把な四捨五入）も忘れてもらえない熊襲健弟に合掌。

やまとは くにの まほろば

うるわしき国 ニッポン

## 温室の外で抱える不安

昨日は尖閣諸島問題映像流出の日本人の反応と政府の対応を追って、一日中ネットに張り付いていました。過去に遡って報道や個人のブログ、周辺諸国で編集された関連映像も。

そして昨日の朝鮮学校無償化の決定。  
反日教育を公言しているのにもかかわらず。

日本の文学賞をとって作家デビューという夢は、どうも無理と言  
う気がしました。

才能や努力がどうこういう以前に、日本がなくなるかもしれない  
未来がもうすぐそこまで来ているんですから。

海外で出会う韓国人も、中国人も、もちろん日本人も、それぞれ  
祖国にはいろいろ思うところがあって外へでてきているわけですが  
ら、無批判に互いを憎んだり否定したりということがなく、「アジア  
人枠」のなかで仲良くできるのですが。

そうでない、隣国の政策に洗脳教育され、自分で考える力を持た  
ない駒にされた人々が、日本を外と内から食い荒している、そんな  
ふうに見えます。

現内閣はどの角度から見ても、日本を滅ぼそうとする人々の傀儡  
としか思えません。

マスコミも、そうした人々に支配されているようです。

隣国は、戦後、日本をアメリカに横取りされた時から、長い時間  
をかけて日本を征服するためのシナリオを書き上げ、ようやくその  
完成と公開のときを迎えているのかもしれない。

尖閣諸島の衝突は、舞台開幕のベルにすぎないのではないでしようか。

筋書きはもうできあがってしまっているのです。

武器による戦争だけが、侵略や征服の手段ではないということ、このサイトでファンタジーや歴史、戦記、陰謀ものを書く作家さまはよくご存知のはず。

引き鉄を引く何世代も前から深く征服対象の国に入り込み「草」「スリーパー」といった切り札を育て、増やしていく。彼らに征服対象国の世論や政治を動かさせ、気がついたら日本の国政を動かす中枢は日本人以外の人々に掌握されている。資源の独占だけでなく、国債の買占めで対象国の経済も握る。同じ方法で主要企業も日本人名義で買い取る。

もしかしたら、自衛隊にも深く食い込んでいるのかもしれない。「スターウォーズ」の「クローン戦争」の一幕が現代に実現するかもしれないのです。

味方だと思っていたクローン兵士たちの一斉攻撃を受けて、ジエダイは虐殺され、共和制は崩壊する。

文化革命以後、中国共産党が自国民にしてきたこと、周辺の諸国にしてきた横暴な残虐行為を、日本にやらないという保証はどこにもない。

むしろ、日本人こそ、一度は肅清したい民族浄化のトップリストにあるのではないでしようか。

中国の周辺諸国では、日本だけが、聖徳太子の時代から「中華なんて、関係ないよ」、僕ら独立国。うちの国にはうちの天子さまがいるんだもん。へへっ」という態度をとり続けてきたのだから。

中華思想の風上にも置けない不良民族なのです、日本人は。二度と独立できないように叩き潰されそうです。

中国共産党は、はなから日本を相手に友好なんて考えてないのです。

だって、対等だと思ってないんですから。

アメリカが助けしてくれると思ったら大間違いです。

アメリカの国益を満たす条件がなければ、日本だって簡単に斬り捨てられます。

特に今の方向性も将来性も見られない弱腰の日本の指導部と、批判精神を持たないマスコミと、政治に関心をもたない、愛国心のない国民を見て、誰が手を差し伸べようと思うでしょうか。最後のところで掌を返されることは十分に予想されます。

そのアメリカが日本人から愛国心を奪い取り、民族の誇りと牙を完全に抜き取り飼い慣らしてきた事實は、都合よく忘れ去って。

二万年前は一緒に氷河に沿ってマンモスを狩りつつ、ともに暮らしていたのに、西洋人から見れば見分けがつかないほど似ている東亜三国ですが（実は四国かも？）でも北の某独裁国については思考が拒否……）もう、こんなにも離れてしまっていたことに、愕然としています。

日本だけが、嵐の接近を知らない温室の中で都合の良い夢をみてまどろんでいる。

せめて、ネットという新しい技術が、情報という温室の窓を打ち壊す力を持っていることを祈るばかりです。

事實は小説より奇なりです。

歴史は繰り返します。

中国が自国民や周辺諸国に過去に行ってきたことを日本で再現させないようにすることができるのは、日本人しかいません。

海外に住んで何もできない立場ですが、日本が存亡の危機にある  
ということはまだ気がついてない日本の若い人々の眼に、この文章  
が触れることを祈ります。

自分たちの言葉で、多様な思想と自由な意見を交わすことができ、  
好きな小説を好きなように書いて、たくさんのおひとびとに読んでも  
らえる世界が、いついつまでも続きますように。

## 温室の外で抱える不安（後書き）

どうかどうか、中国在住の日本人が人質にされることがありませんように。それがとても心配です。

アメリカ陰謀説に関する考察（前書き）

前記事にいただいた感想（1）への考察

## アメリカ陰謀説に関する考察

私は前記事で中国共産党陰謀説をたぐってみましたが、感想欄のほうでアメリカ陰謀説も指摘されて、それももつともなことだと思いました。片手落ちでした。

なるほどビデオ流出は反中と領海問題を緊張化させるので、アメリカに有利に働きます。

その説をとると、まったく日本の内閣はいい面の皮で。

その説をとらなくても、複数あるビデオ流出源説はそれぞれ説得力があり、日本にとっては赤恥以外の何ものでもありませんが。

国家の威信もなにもあつたものではないと。

ところで、アメリカ陰謀説をとると、そもそも沖縄知事選を前になんで中国が日本を挑発する必要があつたのか、そこが私の頭では理解できないので、もうちょっとリサーチしてみます。

アメリカにはアメリカのシナリオがあつて、中国には中国の台本があり。

なんの展望もないのは日本だけなのか。

文字通り「前門の虎、後門の狼」という状態が戦後七十年間も続いているわけなのですが、よく考えてみれば戦前、共産主義が台頭してくる前からずっとそうではなかったかと。

西方（というか、政治的に東側）にあるのがロシアかソ連か中国かの違いで。

いつも板ばさみの日本が疲れて思考停止に陥るのも仕方のないことかと思われます。

日本がアメリカの属国であるという悲しい現実、日米安保条約を三回読めばそういうことかと納得してしまいますし、そもそも敗戦国と占領国なので、これを覆すことは一世紀やそこらでは不可能かもしれないと思えてきます。

大半の日本人がアメリカに支配されているという自覚がなく、あつてもそれぞれが日々の生活に精一杯なので「しょうがないじゃん」と諦観しているのが実情。

それはアメリカが占領時からして巧妙な政策でもって、日本人が反米の感情を持たないように気を遣ってきた賜物でしょう。

なぜ戦勝国が敗戦国にそんなに気を遣ったかといえば、ひとえに対ソ連の冷戦や、ソ連崩壊後も頑張っている北朝鮮や中国への防衛の砦として戦略的に重要だったからで。

つまり、盾。

降伏宣言の玉音放送を六歳のときに聞いたという母の戦争体験ですが、アメリカの進駐軍が街に来て、遠巻きにしている母ら子供たちに「おいでおいで」をしたしたそうです。

田舎ではありましたが、小さいながらも航空基地と付随する施設や工場があつたせいで、空襲を体験した母たちは近づいたら何をされるかわからないものの、逃げたら撃ち殺されるんじゃないかと結局は手招かれるままに米兵に近寄り……チョコレートをもらったとか。

全国津々浦々の日本の子どもたちにチョコレート。

あまりにも有名な逸話でどうしようもないです（涙）

いったいどんだけのチョコレートを空母や爆撃機に積んできたのでしょうか……。

母証言「あんなおいしいものは生れて初めて食べたよ。それから順番に子供たちをジープに乗せてくれてね、基地まで連れて行かれて

もつとチョコレートをもらって帰ったんだよ。家のみんなにも配ったんだけど、おじいさんがすごく怒ってみんな捨ててしまったんだわ。叔母さんたちは泣き出すし。私も何がなにやらわからなくて、とにかく悲しかったね」

六歳くらいでは街を空襲したパイロットと、チョコをくれた米兵さんが頭の中で一致するはずもなく。口に入るのはすいとん、唯一の甘味はサツマイモ、という食生活の当時の子供たちを責めることもできません。こうして終戦当時の、次代の日本を背負った子供たちはアメリカに丸め込まれたのでした。

以来七十年、アメリカは草の根懐柔をはかり、日本国民をチョコと飴で手懐けてきたわけで、鞭は国民からは見えないところで効果的に使っているようです。

そういう一見、日本に甘いアメリカがバツクについているわけですから、中国もベトナム（赤瓜礁海戦1988年）やフィリピン（南沙諸島1995年）にしたみたいに強引に武力行使には出ず、海軍でなくちゃちな漁船で日本を挑発してみたりしたのでしょうか。

それも今後の展開しだいで双方の筋書きは書き換えられていくことでしょうし、日本の立ち居地は微妙に難しいところですよ。

自分の足で立つ、つまりいざというときの自己防衛力は持つべきでしょうし、戦力よりも何よりも、（いつかは）一個の独立国であり民族であるという誇りをまず持つべきだと思います。

ナシヨナリズム（国民主義）は日本ではネガティブに捉えられがちですが、祖国を愛することがイコール軍国主義やファシズムに結びつくものではありません。

欧米諸国はナシヨナリズムには肯定的です。それをアジアに広め

なかったのは、欧州がナショナリズムという思想に目覚めた当時、ほとんどの欧米諸国がアジアに植民地を持っていたので、アジア人に民族意識（民族自決・民族主義）が育つことを怖れたからなのです。

日本は戦争は放棄しましたが、防衛まで放棄していないはずですが、むしろ、自分で自分を護れない国が国際社会の一員として認められるはずもないのです。

個々の人間が自分自身を愛さず、肯定もできないまま他人を愛することができないように、日本が日本としての矜持を持たないまま、隣国とも遠国とも対等な友好などありえないのです。

アメリカの属国か、中国の属国か、その選択肢しか見えない政治家が今日日本を動かしているのが、何よりも問題ではないかと。

## アメリカ陰謀説に関する考察（後書き）

すいとん：ウィキで「すいとん」を検索、「戦時中の代用食」の項を参照のこと。

終戦記念日には必ず食べさせられました（涙）拷問……。

## 遠すぎる隣人（前書き）

私の感じている危機感の根拠について詳しく書いて欲しいというコ  
メをいただいたのですが、長くなりますので、数回に分けます。

まずは、核心へ行く前に、日本を囲む東亜を全体的に見回すところ  
から。

不気味なお隣に対する不安。

## 遠すぎる隣人

たまげたのはビデオ流出騒ぎの間に通ってしまった朝鮮学校の無料化。

反日教育にお金を出す神経がわかりません。

だったら公立小中学校の給食をまず無料化してはどうでしょうか。

朝鮮学校にしても、他の私立学校にしても、国民の知的水準を高めるための義務教育に政府が支援をするのは理にかなっていると思います。日本在住で、親が日本に税金を払って、子供も日本で生きていくのですから、国民と等しい扱いをするのは人道的には正しいのです。

でも、日本人を憎む教育に血税を払う必要はどこにもないのでは。

だいたい「在日 人」という呼称が良くないんじゃないかと思えます。

永住在日とかわけのわからない枠にはめようとしているようですが、永住で日本の土に骨を埋め、子々孫々も日本に住む予定なら、それは日本人。

二世以降は「韓系日本人」「朝鮮系日本人」「漢系日本人」と呼んじゃえ。

嫌がついていても日本で生れた以上は日本の国籍あげましょう、あなたも私も日本人。

まずは日本の市民として日本の国益を優先する義務を負う。その上で移民元の祖先の文化を伝えてゆきたい、そうした活動を認めて欲しい、というのなら頷けます。

それが嫌なら参政権も教育費も生活保護も求めるべきではない。

こちらが毅然とした態度をとり続ければ、反日教育はやりにくく

なるのでは？

韓国の行き過ぎた反日教育についてですが、私は実はこちらに来てから知りました。

ネット環境が手に入ったことがまず一番の理由と思いますが、それまでは在日の友人になんだかんだと吹き込まれていたことが大半で（強制連行とか・従軍慰安婦問題とか）

あっさり信じていましたが、それも昭和一桁生まれの父が見せる在日に対する激しい嫌悪と差別意識を目の当たりにしていたからでしょう。

兄が中学時代に連れて来た交際相手が日韓ハーフで大変な騒ぎ。小学生の私には、兄の彼女が韓国とのハーフで何がいけないのかさっぱりわかりませんでした。

それ以前に、日本人の中の差別、学校でのいじめに苦しんでいた私はむしろ「日本の都合で連れてきた人々の子孫にその扱いはないんでないの？」と反感を持ったものです。

今にして思えば、父は社会的には「負け組」である自分を認めることができず、底辺の日本人であることへの鬱屈のはけ口を在日に向けていたのだと思います。そして、そうした「多数」の「負け組」の日本人が、在日を非人道的なまでに差別した地域や時代も、確かにあったのでしよう。

根拠のない優越感によって他者を貶めることでしか、自分を守れない人間の醜さに直面したことは、なかなか忘れられるものではありません。

とにかく、在日友人の影響でお隣について勉強し始め、何より驚いたことに……。

わたしたちは歴史の授業の中で隣国の歴史についてほとんど学ばされていないのです！

四大文明には長い時間を割き、世界史では中国は殷周秦漢から清まで丸暗記させられ、ヨーロッパ各国、産業革命、アメリカ独立とほとんどテストにも出ますが、となりの半島で起きた事件や王朝の変遷はほとんどノータッチ。

広開土王の碑以降の隣国の王の名前を言える日本人が何人いることか。

極端な話、663年の白村江の戦いから、ぽーんと飛んで豊臣秀吉の朝鮮侵攻、それから大きく飛んでいきなり1910年の日韓併合ですから。

失礼ですよ。

これはお隣さんでなくても、ちょっと気分悪いと思います。

(うちの学校は違うよ！ ちゃんとやったよ、というご意見は拝受いたします)

お隣同士が犬猿の仲というのは珍しいものではなく、イギリスとフランスなんて、プロテスタントとカトリック、王政と共和制(のちに帝政、のちに……以下省略)といった対立から何百年にわたっておびただしい血を流してきましたが、相手の国を無視したり、反感を過度に煽るような歴史教育はやっていません。

日本は隋以降の中国への朝貢は廃止しても、朝鮮との国交と貿易は連綿と続けてきました。

イギリスとフランスに比べるといたって平和なものです。

「チャングムの誓い」でも日本が海賊で悪者にされてますが、あの時代は戦国時代なりにも山口や九州、山陰との行き来はあり、貿易は盛んだったはずなのに、そのことは一切触れられていないという……。

古墳時代から交流していた地方の者としては非常に悔しいです。

さらに第一次世界大戦あたりからは学校は三学期に入り、期末試験にもひっかからず、まして歴史は受験の必須科目ではありません

でしたから、かなりいい加減です。

日本が背負わされている敗戦の責任と、その因果関係については、まったく教育がなごりなのです。だから、在日のトモダチに言われたことを鵜呑みにしてしまう日本人が増える……。その在日のトモダチにしても、親に言われたことを繰り返しているだけで、根拠を突かれると考え込んでしまうのですがね。

私「マルちゃん（在友の名：もちろん仮名）が言うには、日本が韓国を支配したってさあ」

在友「うん？」

私「ありえないんじゃない？」

在友「なんで」

私「勤め先のホテルに、毎年朝鮮団体が来るんだけど」

在友「そうなの？」

私「大阪の団体さんより強烈」

在友「なによそれ」

私「マルちゃんも、マルちゃんのお姉さんも、言いたいことポンポ

ン言うよね。自己主張ははっきりしてるし」

在友「何が言いたいのかなあ」

私「いや、黙って支配されているような人たちに見えないから」

そこでマルちゃんの表情に影が差しました。

在友「韓国とか朝鮮とか、日本みたいな一枚岩の単一民族国家じゃないからね。大きく分けて三つだけでも、それぞれの部族が半島でいがみあって、なかなか団結しない。だから中国にも日本にもつけ込まれて、いつまで経ってもひとつになれないんだ」

これは日本育ちのマルちゃん個人の半島感ではありますが、マルちゃんにしても日本だけが悪いわけじゃないのはわかっていて、だ

から帰化を願っていたのでしょうか。

やはり、草の根的に、ひとりひとりの交流がポイントかと。

日本好きな韓国人をどんどん増やす。

身近の在日と腹を割って話し合うことが「友好」への第一歩。

そして、57万人の在日（いえ、半島系日本人）の方々が「日本はいいとこだよ」、日本人はそんなに悪くないねえ、ああ、日本は暮らし易い」と親日思想を逆輸出してくだされば、半島と日本は江戸時代あたりまでの親和さは取り戻せるのではないのでしょうか。

そのためには、実証を伴う知識と、論破されないだけの根拠が必要ですよ。

どちらか一方が主張する「正しい歴史」ではなく、「両方から見た歴史」を学び「信頼できる検証」を重ねた実例を双方の教育に組み込んで行くことが基盤になります。

お隣に都合の悪いことはすべて蓋をして、国民の眼を塞いでいる日本のマスコミと日本政府は、あてになりません。

## 遠すぎる隣人（後書き）

二千年の歴史の中で、四回しか戦争をしていない隣国土の国というのは、珍しいです。

ある意味すごく仲良しなのではないでしょうか。

神話時代：神功皇后の新羅遠征

（どうも負けたらしい）

飛鳥時代：白村江の戦い

（南韓の百済国と同盟して新羅・唐と戦う。惨敗、百済は

滅亡）

安土桃山時代：文禄・慶長の役 朝鮮出兵

（一個人の野望、秀吉の死で挫折、撤退）

明治時代：日韓併合（ロシアに対抗して）

…… 白村江海戦以外は、みんな日本からしかけてますね（墓穴・

冷汗）

しかも、元寇の折には朝鮮はわざわざ台風の季節に遠征するように元軍を指導しています。

単に元が嫌いだったのか、それとも高麗王国が実は親日だったのか……。

## ネットとリアルの温度差（前書き）

日本の内閣は正念場を迎えていますね。

長いものに巻かれてないで、且つ、対立しない方法を見つけ出して欲しいものです。

## ネットとリアルの温度差

ネットを読むと不安になる。中国で急上昇の反日感情とか、韓国の行過ぎた反日教育はどこまで本当なのだろうかと過激な内容が並んでいる。

おそらく、日本にしても、国内ネットで声を上げているのは、右と左の端にいる人がほとんどで、どちらでもない大多数の方たちは外交よりも、日々の生活とか娯楽のほうが忙しく、尖閣問題を突きつけられてもあまり実感が無いのじゃないかと思う。

残業で命をすり減らしている上に、リストラに脅やかされてる日常のほうが切実だ。

私の母曰く「なんで仲良くできんのかねえ」

母の周りにいる在日外国人はフィリピン人から韓国人まで仲良らしい。

母的に、娘が外国へ嫁に行ったから、日本にいる外国人嫁が気になって面倒を見てしまうので、自然にそうなるのだと思う。

ちょっと離れている私は日本のようすが心配でネットに張り付く時間が長くなり、危機感を募らせているのだ。

しかも、どれが情報操作で、どれが煽りで、どれが真実なのか、モニターに映る記事や文章からだけでは判断が難しい。

東亜に関連した記事やそのコメント欄は、英語で書かれたものも多い。内容は日本を批判したものが圧倒的。私の検索の仕方の問題があるのかもしれないけど。

こうした匿名性の高いコメントは、何国人が書いているのかわからないが、三国間での共通言語が英語である（なんか悲しい）ということもあるのだけど、英語一般読者、つまり日中韓以外の読者も

含まれていることを忘れてはいけない。

日本人は言い訳をすることを恥とする文化があるから、黙ってしまっけど、それじゃ周りから悪く思われるばかり。無言であることは自分が悪いと認めることだ。だから国際的な世論をバックにつけるのが難しい。黙っていたら、何も伝わらないのだ。

英語で書かれた反日記事を読むと、背筋が寒くなる。

情報操作目的もあるのだろうが、中には、身の危険を感じるほどの憎しみがこめられているものもある。精神衛生にわるいので、最近では読まないことにしている。

ウィキペディアはひとつの記事に関して数ヶ国語に翻訳されているけども、それぞれの内容が一致していないことは、別に驚くにあたらない。

言語間の微妙なニュアンスのずれもあれば、翻訳者の主観も入るだろうし、その国の公式見解も含める必要がある。相互国の認識のずれも、互いに譲らないだろうし。

自国の読者が興味ないだろうと思えば、概要しか載せてない記事が多い分野も多い。

だから、読めない言語では、日本についていったい何が書かれているかわかったものではないと思ってかかる覚悟が必要だ。

で、ネットの海からでなければ、平和。

交流のあつた韓国人から反日感情を見せられたことはなく、むしろ「日本好き」とか言われたり。

中国人については、本土から逃げ出した台湾人、香港人、シンガポール人や政治難民などのボートピープルばかりなので「中国共産

党嫌い、ボクたち中国関係ないし」で一致している。しかし、中国の行事や風俗を頑なに維持する。そして毎日食べるのは中華料理だ。

いろいろな人種民族との交流と、民主主義の空気に馴染んでしまえば、情報の閉鎖された社会の異様な世界観にかえって辟易としてしまうものなのだろう。

日本は外国文化をどんどん採り入れるし、民主主義で自由な国なのだけど、人口のほとんどが自国民で閉められているので、情報規制は難しくない。そして、人口に比して海外との交流が浸透しているとは言い難い。草の根レベルでの世界観や世界の中での日本の立ち居地に対する理解の幅や考察の深さが、実は隣人たちの狭隘な世界観とあまり変わらなかつたりする。

これは私の実家が地方にあるために、特にそう感じるのかもしれない。

（うちの兄など、子供たちが英語を学ぶのを喜ばない。私みたいに移住してしまうんじゃないかと不安に思っているらしい）

尖閣問題から、日本人が国政や外交に興味を持ちだした最中のAPECを機会に、ひとりひとりが自分の意見を持って、違う意見のひとつと議論できるようになればいいと願う。

15年前、英語学校で出逢った韓国人女性　　さんと意気投合した。

教室に入ってきた彼女を見て、始めは日本人かと思った。

顎までのワンレン頭に、化粧ツ気のない顔は奥二重の控えめな切れ長の目。鼻も口も小ぶりで「市松人形」を連想させたからだが、何より教室に入ってきたときの恥ずかしそうな表情や仕草に好感を

持った。

二ヶ月の間、モールで買物したり、お茶したり、宿題をいっしょにやったり。

世間話もした。

「が教室に入ってきたとき、日本人かと思った」

「うん、でしょ？ ワタシ、整形してないから」

「……」

整形してない 日本人に間違えられる ??????

日本人は美人じゃないということかなあ???????

愛国心旺盛なワタシはムツとしそうになったのだけど、次の彼女のひと言で懐柔されてしまった。

「日本が好きだから、日本人に見られて嬉しい」

「じゃあ、xxさんとか、さんとか、すごい美人だけどさ」

他の韓国人生徒の名前を上げると、その彼女は眉をしかめて吐き捨てるように。

「整形してるに決まってるじゃん。厚化粧で気持ち悪いよね」

きっぱり言い切るその表情と口調に前記事のマルちゃんを思い出し、やっぱり彼女も韓国人だと思った。

それで当国では日本の巻寿司が人気なのだが、韓国にも似たようなものがあるというので、それぞれで作ってクラスに持ち寄ったことがあった。

見た目はそっくりだけど、韓国寿司はごま油が使ってた。ワサビ醤油より、唐辛子醤油のほうが合う。

私は自分の作ったのが不恰好で恥ずかしかったので、台湾人の先生に

「崩れてるのはワタシが食べるからね」  
ときれいに切れているのを勧めたところ、先生はにっこりと笑って  
「さんも同じことを言ってたわ。日本人と韓国人で、考え方も  
似てるのね」  
と返された。

台湾人の眼からはそう見えるらしい。

## ネットとリアルの温度差（後書き）

さんの出身を訊いておかなかったのが悔やまれる。

日本の電波が入るところの韓国人は日本が好きだったりするといふ噂だから、感性が日本人に似ているのかもしれない。今となっては確認のしようがないけども。

昔々あるところ(前書き)

韓国ネタをもつひとつ。

## 昔々あるところ

15年前、初めてこの国に来たときに、スーパーマーケットでかっぱえびせんやロッテのポッキーなど、日本のお菓子があることに感動した。したのだが、何故、ハングル文字？

手にとって見ると、パッケージは日本のお菓子そのままなのに、日清製粉の商標も社名も入ってない。

当時はネット環境はなく、まだパクリ騒ぎや起源説そのものが流布してなかったこともあり、私の脳内では「日本企業の東南アジア進出 韓国工場で生産 韓国国内消費のお菓子を海外へ輸出 日本で作るよりも安いからだろう」

で納得していた。それにしても、日清製粉やロッテ本社の日本の住所が記載されていないのはどうかとも思ったのだけど。

日本やアメリカ、欧州のブランドが安い人件費を求めて東南アジアに工場を造るのはもう当たり前のことで、別にわざわざ言及する必要もない。燦然たる日本の自転車パーツブランド「Shimanoro」はメイド・イン・マレーシアで誰も疑問に思わない。しかし、シマノはどこまで言っても日本の企業であり、その品質の高さはブランド名において保証されている。だからこそマウンテンバイクやロードバイクの消費者たちは、高いお金を出してシマノのパーツを買うのだ。

なのに、日本のお菓子に、日本企業の名前が記載されていない。ハングルパッケージのかっぱえびせんは、ちょっと油っぱいなと思っただ。

そんなことがあったので、最近ネットで知った「韓国パクリ体質」とか「なんでも韓国起源説」とか、わりとすんなり納得した。

さて、そのウィキの韓国起源説なんだけども。読むぶんには面白

い。

日本って、病み愛されてる……。

抱腹絶倒だ。

それから、隣人はついに精神の箍がアステロイドベルトの向こうまでぶつとんでしまったのかと激しく不安になった。

でも、こうしたネット記事がどこまで本当なのか、話題にされている当の一般の韓国人にどれだけ浸透しているものなのか、地球の端っこにはわからない。

その思いを強くしたのは、モニター左の「他言語」の欄を見て「中文」しかなかったから。

中文をクリックすると、中国語で書かれた韓国起源説について書いてあるらしいが、日本のそれより量が少なく、あっさりしている（ように見える）

つくづく韓国語や中国語が読めないことが残念に思われた。そうすれば、ソースであるというサイトを読んだり、文献やら論文やらとを読んで自分で確かめることができるのに。

さらに「韓国起源説」には英語頁がない。

「なんでも韓国起源説」の不当性を訴えたければ、韓国本土と世界に向けて発信しなくては意味がないのに、韓国語頁も英語頁もない。

では、このウィキ頁の対象読者・ターゲットは日本人ということだ。日本人に、韓国に対する不信と軽蔑感を増加させて、どうしようというのだろうか。

「なんでも韓国起源説」がここまで理不尽で荒唐無稽で、真実だというのなら、ほとんどん外国語に翻訳してもよさそうなものだ。そうすれば、アメリカやヨーロッパ、国連にまで持ち込まれた慰安婦問題に提出された韓国側の証拠や証言も曖昧で、ご都合主義である

ことに説得性がでてくる。

英語ウィキの慰安婦ページに、日本側の検証と主張を反映させて欲しい。

だけどそれをしないで、日本語読者だけを対象に、隣国の悪口を並べ立てる。

迷走しているのは、韓国も日本も五十歩百歩といったところじゃないかと読後の感を持った。

そういえば、「日本文化はみんな韓国起源にして喜んでいる韓国人」が漏らしているものを見つけた。そういう団体なり人物が本当に実在するなら教えてあげると喜ばれるかも。

### 桃太郎伝説

桃太郎のモデルとされている、吉備津彦命（きびつひのひこ）（孝靈天皇の第三皇子）に退治される鬼が、温羅（うんら）と言う名の、土地の豪族に婿入りした（自称）百済の王子だ。

吉備津彦命と温羅は鳥になり魚になり戦い続け、吉備津彦命が温羅を討ち取った。

温羅は、退治され首を落とされても唸り声を上げ続け、骸骨だけになっても、釜殿の下に埋められても唸り続けた。

ものすごい怨念。

今に伝えられる、吉備津神社の鳴釜（なるかま）神事の起源となった神話。

製鉄技術が渡来系の職能集団によってもたらされたことは、古代史において周知のことで、この温羅王子が半島から一族を率いて、鉄資源の豊富な中国山地を訪れたことは想像に難くない。来て見たら半島より気候が温暖で、新羅や大陸の脅威のない吉備国の豪族に婿入りしたくなってしまったく不思議なことはない。

鉄で栄えた渡来系の「真金まがね（鉄）吹く 吉備」勢力が、大和勢に  
征服されてしまった過程が、神話の背後に息づいている。

敵も味方も、勝者も敗者も、渡来系も土着系も、皆、同じように  
祀って八百万の神様にしてしまふ。

島国でありながら、この海のような大らかさは大和民族独特のも  
のだ。

単に無念の最期を遂げた死者の祟りが怖い、というのはあるけど  
も。

そういえば「千と千尋の神隠し」に韓国コスっばい神さまご一行  
がいたような……いや、ひよこ神とか大根精じゃなくて……。

## 昔々あるところに（後書き）

蛇足ながら：

ウィキペディアの日本皇室は、英語、中文など12か国語に翻訳されているが、韓国語ページはない。ちよつと残念。

英語ページでは「日本の皇室は現存する君主国のなかでは世界最古の家系：The Japanese monarchy is the oldest continuous hereditary monarchy in the world still in existence.」と記されている。この「still in existence：未だに存在する」つてのが、うちの皇室はシーラカンスですかと反論したくなるのだが。

中文ページには「天皇は神話における天照大神の後裔」らしいことが書いてある。しかも別ページを割いて『日本皇室世系図』を神武天皇から今上天皇までびつちり記載してあつた。

そしてさらに気になったのは、外部リンクに中文の皇室関連ページ『日本皇室の秘密生活』なるものであるのだ。

残念ながら読めない（涙）。

中国人は激しい反日感情を抱えている割に、日本の皇室には好意をもっていたり、織田信長のファンが多いという話は本当なのかもしれない。

それにしても……日本の皇室に関する、どんな秘密の生活が中国人に読まれているのだろう……。

## 私も先住民ですが何か

中華共産党帝国の野望つてことで、ウイグルやチベットの弾圧と  
同化政策を持ち出すと、必ず引き合いに出される「アイヌ先住民同  
化問題」

軍事行動の規模と、殺戮数と残虐さ、その徹底度と狡猾さにおい  
て、日本列島とアフロユーラシア全大陸のサイズくらい「同化」の  
スケールが違うだろ。

……という反論は今日のテーマではなくて。

調べているうちに

「私、鈴鹿美雪はアイヌ人の末裔であることが判明しました」

当国の人にもよく「美雪って、うちの先住民に似ているよね」と  
言われるほどのポリネシア系の顔立ち、太くて固い髪、風にそよぐ  
ほどの毛深さと骨太の体格。

そして、父方の先祖は江戸時代よりも前から東北に移り住んでい  
たらしい。

北海道の住民票を取ったら、保護金とかもらえるんだろうか。(

)  
遺伝子を分析してみないと、本当のことはわからないけども。

毛深さについては一生の悩みで、彼氏できるたびに「なんで剃ら  
ないの？」と訊かれたりするのが負担だった。脛くらいならともか  
く、腿も両腕も毛深いのでどこまで沿ったらいいのか、まして左手  
で右腕のムダ毛を剃るなんて危険すぎる。

それに、剃れば剃るほど濃くなるような気がして嫌だ。

だから、今の夫と結婚してもいいかな、と思ったのが。

夫「なんで美雪は夏でも長袖長ズボンなの？」

私「毛深いから」

夫「気にしなくてもいいのに。毛深いのは冬あったかくていい」

私（結婚しよう！）

今は長女が「なんで剃らないの？」と訊いてくるので困る。

でも。次に聞かれたらこう答えてみよか。

私「アイヌの誇りよ。勇猛なるシャクシャインの末裔と呼んで」

長女「シャクシャクって？」

私「日本のウイリアム・ウォレス\*みたいな」

夫「おゝ。それはすごい」

（\*ウイリアム・ウォレス：イングランドの支配、同化政策に立ち上がったスコットランドの英雄。メル・ギブソン主演の映画「ブレイドハート」参照のこと）

しかし、ちょっと哀しくなる報道を掘り起こしてしまった。20

07年の「先住民族の権利に関する国際連合宣言」を受けて、アイヌの権利を復活しようと運動している人たちがいるという話だ。

やめておけ、と言いたい。

ちなみに当国はこの「宣言」に反対票を投じた四力国のひとつだ。だからといって、当国が先住民族の権利をないがしろにしているわけでは決していない。

むしろ、先住民ために国庫が激しい負担を、先住民以外の国民が非常な忍耐を強いられているといっても過言ではない。

移民にしろ、先住民にしろ、（在日にしろ）、優遇政策は決して彼らのためにも当該国民のためにもならないのだ。

日本の皆様にこちらの保護政策の実態と現状をお伝えしたい。

当国の政府が、彼らの就学率を上げるために教育にどれだけお金をつぎ込もうと、彼らが興す事業に低利子無担保で出資しようと、先祖の土地を返せと言われれば、他の国民の権利を後回しにしても投げ与えようと、それらの恩恵を受けるのは利権を貪る一部の人間ばかりだ。

逆に先住民たちのなかの格差を広げているだけだ。

血税の下水垂れ流し状態とも言う。

一般の先住民全体の就学率、高等教育終了率、先住民の人口比率の中で犯罪発生率、家庭内暴力発生率、児童虐待発生率、刑務所の占有率と失業率の高さは一向に減る気配がない。逆に増えているような気さえする。

そして彼らに「奪い返された」土地に、一般国民たちが許可なく足を踏み入れることは許されず、保全にも事業にも長期的な視野を持たない彼らの管理下において、豊潤な自然観光資源が手入れも調査もされないまま放置されている。

国から与えられたお金で就学する先住民の若者たちが、卒業まで学校に留まる率が高いとは言えない。

「先住民」として申請すれば簡単に降りる学費や生活費を遣いきたら、いつの間にか退学している。

逆に白人やアジア人の、両親が共働きで税金もきっちり払って学校に通っている「普通」の家庭の子供たちが、学費が払えず進学を諦めたり、進学卒業しても国から借りた学資ローンの返済から逃げるために海外へ流出してしまっている。

八十パーセントを越える先住民以外の国民の本音は「俺たちの血税であいつらを養うのは、もうたくさんだ！」

当国の国民総人口が横浜市と同程度しかないのだから、その八十パーセントでもって先住民を養う余裕などない。自分の口は自分で養うべきなのに、先住民以外にも、食べるために刑務所めざして犯

罪を犯す人間も多すぎる。刑務所の設備のよさに、やってられない感が納税者のやる気を奪っている。

与えるだけでは、努力を怠る人間を造り上げるだけ、人権という印籠には及び腰の政府からもつと搾り出そうとつけ上がるだけ。甘やかされると駄目になるのは、子供も大人も集団単位でも変わらない。

少数民族だろうと先住民族だろうと、当該国民として平等に与えられる権利で充分じゃないか。

参政権があり、将来的にあてにはならないが年金受給資格があり（日本は25年も積み立てないともらえないんだけど）義務教育が受けられる。

（私のときは高校は国民負担だったけど、公立なら低所得世帯には所得に応じて免除制度も会った）  
それのどこが不満なのか。

国連の宣言の内容は以下のとおり（ウィキより引用）

「『文化、アイデンティティ、言語、労働、健康、教育、その他の問題』に対する彼らの権利と同様に、個人と共同の先住民族の権利を順に説明する。宣言は、自身の慣習、文化と伝統を守り、強化し、彼ら自身の必要性と目標に合わせて彼らの発展を続行するために、先住民族の権利を強調する。同宣言は、先住民族に対する差別を禁止し、それは彼らを心配させる全ての問題への彼らの完全で有効な参加を促進し、そしてまた、彼らの権利を明確に保持し、彼ら自身が目指す経済・社会的開発の継続を促進する。」

引用ここまで。

今も当国で続いているような「先住民が没収された土地や資源の返還」を求めているなら、すでにそこに住んでいる人々との確執が生

れるし、極端な話、プチ・イスラエルVSパレスチナみたいなことになっては国益に反する。一度認めるとなし崩しにあの部族にも、この部族にも、ということになって、既にできている町の強制移動みたいな非現実的な争いにまでなってしまう。

アイヌ人にアイルランド独立闘争の真似事でもさせて、日本を分裂させたい組織でも暗躍しているのか。

民族自決権を求めるということは、独立や自治区を求めるということで、国をひとつ運営していくだけの組織や資産、資源が必要になるわけだが、それだけの覚悟があつて運動しているのだろうか。

アメリカ・カナダの宗教集団アーミッシュ（ドイツ系移民・キリスト教の一派・人口推定20万人/ウイキより）みたいに、外界とのかかわりを断ち、16世紀そのままの完全自給自足生活をする選択肢も、北海道なら可能かもしれないけども。

固有文化の実践・復興は大いにやればいい。

現存するアイヌの口承伝説「ユーカラ」は全て集めて録音、文章に起こし、商業目的を度外視して翻訳して出版して欲しい。

活動の助成金も、特別枠じゃなくて、日本各地の文化保存、新興の予算に始めから組み込むべきだとも思う。もちろん、与えられるだけでなく、将来的には独立採算の方向で。

もし国がアイヌのために一歩踏み込んで何かするべきだとしたら、ユネスコの世界無形文化遺産にでもアイヌの文化をまとめて登録することだ。日本人は誇りに思いこそすれ、邪魔する人はいないだろう。

だけど、政府のアイヌ政策推進会議の座長が<仙谷由人内閣官房長官>だという時点で、アイヌに明るい未来はない。（11月8日・北海道新聞）

というか、今こそ日本はアイヌを腐敗した政治屋や利権集団の汚れた手から守り、支える時なのかも。

## 私も先住民ですが何か（後書き）

もしアイヌ人優遇保護政策とかでお金が個人単位でもらえるのなら、ヤマト族に征服された出雲人も吉備人も、隼人も薩摩も琉球民族も、みんなみんなもらえる道理になる。

私は上のひとつに本籍があるから、住民票を戻せば対象になるかも。しかも遺伝的にはアイヌかもしれない。

ついでに土蜘蛛族や和邇族も掘り出して、日本は正真正銘の多民族・複合民族国家ということで、各自地区を認定したのちは日本連邦と国名変更しなくてはならなくなると思うと。

それも二次元的妄想劇場では面白い。

まずは先住民自称者の遺伝子鑑定からはじめなくてはならないだろう。

ありえない……

でも、「あなたのルーツ発見！遺伝子鑑定サービス」とかないんでしょうかね。

夫の「ニホン人のココがワカリマセン」(前書き)

お隣が大変なことになってしまいました。

日本も射程距離に入っているという記事を朝一に読んでしまい……。

朝鮮戦争が再開されることがありませんように(祈)

## 夫の「ニホン人のココがワカリマセン」

少し前のこと。

テレビだったか、ゆうちゆうぶだったか忘れたのだが、隣国が反日活動で日章旗を燃やしている映像が公開されていた。

夫はものすごく驚いた。

「日本政府は抗議しないのか」

「どうなのかな。日本政府が抗議したつてのは、聞いたことない」「なんで抗議しないんだ。自分たちの国旗が燃やされているのに？ 宣戦布告されているのと同じことなんだ。こいつらもこいつらだ。他国の旗を燃やすことの意味を知っているのか。こんな侮辱を他の国でやったら、ぶち殺されたつて文句言えないんだぞ」

ああ、怒らない日本に怒っている白人がここにいますよ。

日本人が怒らないのが不思議でしょうがないと、夫は頭を振った。それで、ちょこつとだけど、日本の黒歴史なところを話した。

「日本は敗戦国だったから、国旗や国歌が軍国主義の象徴つてことで、アレルギーな人が多いんだよ。私が子供のときも、卒業式で国旗の掲揚や国歌の斉唱をするかしないかでニツキヨーソとかいうのが反対してもめてた」

「国旗じゃないか。国そのものを表すものだろ。なんだそのニツキヨーソつて」

はて、そういえば、なんの団体だったのだろう。学校の先生の労働組合みたいなものだとか誰かに聞いたまま、そうかと思っただけだった。よく考えたらなんで学校の先生が国旗に反対するのか、意味がわからない。

で、ぐぐってみる。

以下、「はてなキーワード」より引用

G H Q（連合国軍最高司令官総司令部）は、太平洋戦争の原因が日本の戦前の教育にあるとして、民主化の一環として教職員団体の結成を指令した。1947年6月8日に、前述により結成された三つの教職員団体が合同し日教組となった

え？

ちよつと待て。

太平洋戦争の原因はアメリカの日本に対する経済封鎖（マッカーサー言、1951）でしょ。戦前の教育があつたから、当時の日本はアジアにたつたふたつしかなかったアジア人の独立国（もうひとつはタイ王国）であり、開国からわずか半世紀で、アジアの一後進国から欧米の列強と肩を並べる国際連盟の常任理事国まで成長した。

（この明治の富国強兵と、第二次大戦後の日本の経済復興はある種の奇跡的業績として、欧米の学生たちの論文やレポートの題材に取り上げられるらしく、英語版な「おしえてgoo」や「はてな」サイトでは質疑のネタになっている）

つまり。

敗戦国日本が再び立ち上がり、歯向かってくることを懸念したアメリカの日本人洗脳政策　日本に戦争責任の全てを押し付け、日本が歴史上稀に見る強欲で残忍な軍国主義国家であったというイメージを刷りこむ　に、日本人の教職員たちが一役買っていたということだ。

戦後世代の子供たちに愛国心や民族意識が育たないように、日本

以外のほとんどの国が、祖国そのものとして尊敬をもって見上げるべき国旗を、汚れたものと子供たちに教え込んだ。アメリカに指示された日本人の教育者によって。

戦争前後当時は、アメリカの国策で親日アメリカ人は発言を許さず、日本を擁護した出版物は発禁になったり、声を上げると投獄ということもあった。共産主義の隣国ではない、自由の国、アメリカでの話だ。東京裁判に関わった当のアメリカ人には、あの裁判が公平でなかったことをいう見解を、時間が経ってから述べる人もいた。さらにアメリカの大学教授や政治家には、あの戦争は日本軍によるアジア植民地の解放であり「大東亜共栄圏」の理念を再評価すべきであるという意見を述べる人たちもでてきた。

タイ、インドネシアは「いろいろあつたけども」日本がアジア諸国に白人とアジア人が対等な人間であることを証明し、独立への道を示したのだと肯定的であり、インドは東京裁判においてただ一国、日本人戦犯を無罪とした判決を出した。反日と伝えられるフィリピンには、フィリピン人の手による神風特攻隊の慰霊碑が建っている。特攻隊員は、彼らを知るフィリピン人たちには祖国に命を捧げた英雄として敬われている。

それなのに、アメリカのプロパガンダに踊らされた日教組にその海外からの声が届くということはなかったらしく、国旗・国家バッシングは今世紀まで続いていると聞く。しかも、民主化のために組織された団体が、共産主義に陥って隣国のような洗脳授業をしていたのだから、本末転倒。

子供たちの目の前で国旗を引きずり下ろした教員もいたそうだが、教員が、身をもって祖国を引きずり下ろすことを教えたことになる。

歴史を学ぶのは、先達の罪を弾劾することでも、後の世代に償い

を強要するためではない。同じ災禍を繰り返さないように、過去のどの部分が過ちであったのか、それを教えるのが教師なのに。

最近では加入する教員が減ってきて、ひと世代前みたいな偏向指導は影をひそめているという話だが、中共が野心を隠すこともなく不気味な動きをしているこのときに、日教組によって反日・自虐史観を刷り込まれ、「日本の罪」というキーワードで思考停止、条件反射で謝罪するようにプログラムされた世代がどう国を動かしているのか。

日本人による、日本人の反日教育の弊害がでてくるのは、これから。

実のところ、日本人は一党独裁に洗脳されている十三億のお隣さんに同情できる立場ではないのだ。

私の育った県は日教組の影響は少ないと言われていたけども、自衛官の子供たちが親の職業を言いにくい空気はあったし、私も子供ときは日の丸にたいしてわけのわからない嫌悪感を持っていた。君が代を歌うべきかどうか、起立すべきかどうかというような議論をぼんやりと覚えている。私自身は歌いたくなかったのだけど……理由は思想とはなんの関係もなく、声の音域が低くて狭い私は、君が代のハイノートの音がなくて、途中で裏声にひっくり返り、周りの輦轡を買うからだった。

今は、どうなっているのだろうか。

日本の小中学校では君が代を歌うのだろうか。

過去にどんな悲劇があろうと、国旗や国歌に罪があるというのだろうか。

個人的に、過去の戦争に負けたことは、結果的に悪いことではないと思う。もしアジアを征服していたら（物理的に無理であること

を、当時の軍部も知っていたけど）勝利に奢り、権力に溺れて墮落する人間の摂理に従い、選民主義に溺れ、お隣のジャイアンの中華思想を笑えないほど傲慢な帝国になってしまっただろうから。

海外でオリンピックを二度迎えた。

他の在外邦人はどうなのかは知らないが、私は異国でテレビを見ながら、オリンピックのメダル表彰式において日本の君が代が流されたときは、理屈でなく目頭が熱くなる。日の丸の旗がするすると昇るのを見て、とても誇らしく、胸がいっぱいになる。

祖国とか民族への帰属意識は、自分が誰であるかと言う、個人の精神基盤のもっとも重要な部分だ。

一生抱えてゆく感性、常識、行動様式を形作られた結果が最大公約数の「国民性」というものだからだ。

愛国心を否定することは、自分自身を否定することになる。

祖国を否定する国民を抱えた国家が、国際社会で敬意を払われることはない。

来月は長女の中学課程の卒業式だ。

クリスマス時期なので、クリスマスソングである「フェリス・ナビダ」のあとに当国の国歌を斉唱する。当国の卒業式に国旗が掲揚されるかどうか記憶にないのだけど、子供たちが「神に祝福されし我が祖国」と謳いあげる国歌の斉唱は、いかにも学年度のしめくりに相応しいという気がする。

## 夫の「ニホン人のココがワカリマセン」（後書き）

怒らない日本がヘタレなのかどうかはともかく、他国の旗を燃やすのがお祭りになって隣国のモラルはどうかと思ひ、西洋と東洋では国旗に対する感覚が違うのだろうか（日章旗だけでなく、互いの旗を燃やし合っている半島や大陸だけでなく、台湾までアジア大会がらみのトラブルで太極旗を燃やしたり、落書きをしたという。それについて韓国人はものすごく怒っているらしい……はあ）そして、夫の言うように、西洋で同じことをたら本当に「ぶち殺される」のかと、ぐぐつてみたが、収穫はなかった。ちなみに台湾が韓国の旗を燃やしたのは、かなりの顰蹙を買っている（反台側のなりすまし英語コメ投稿でなければ）

しかし、国旗の歴史でちょっと眼を引く記事があった。まず最初に国旗を制定したのがフランスとアメリカ、18世紀。それからヨーロッパ各国がつぎつぎに自国の国旗を定める。そして、アジアで最初に自国の国旗として制定し揚げられたのが、日本の日章旗。1870年（明治2年）のこと。清帝国の1890年に先立つこと20年。（英語ウィキより）

周りのアジア諸国が西洋の帝国主義によって植民地化されてゆくなか、幕末以来の不平等条約の改正を進め、自主・独立を維持しようと努力し、人類史上初の国際平和機構である国際連盟（短命ではあったけども……国家間で話し合うための機構が発足したということ）が人類の進歩だったの設立に貢献した父祖たちの、想いのこめられた国旗だ。

こうした先達を持つ日本人は、日の丸にもっと誇りを持っていい。

## 脱・自虐史観（前書き）

前書きというか、今さらながら、中書

尖閣事件からこちら、日本の国際的立場について考える時間が増え、資料などぐぐっているうちに、いろんな意味で記憶とか姿勢とか、整理する必要を感じました。

文化の違う社会に住んで体験したことと思うこと、というエッセイの主旨からはずれてきたなあと思わないでもないのですが、日本人として感じることを考えることはやはり近代から現代まで培われてきた日本人の「史観」によるところが大きいと思います。

自分のなかの「日本人観」のぶあつい壁を破ることで、諸外国との文化の壁も越えられるのではないかと、このまま近代史や時事外交について書き散らしてまいります。

## 脱・自虐史観

長女が十歳にもなつてなかったころと記憶しています。

テレビを見ていた長女が耳にひっかかった単語について訊ねました。

「『インヴェイジョン』って、どういう意味？」

夫はすかさず。

「Japan invaded Korea」

という例文を持ち出してきたんです。なんとというか、条件反射な感じ。

私は思わず立ち上がってしまいました。

「日本が植民地の獲得に乗り出したのは過去百年で最後のこともかもしれないけど。その前はどなの？ インドはこの植民地だったの？ フィジーは？ フィリピンは？ 大英帝国がどれだけのアジア人を搾取殺戮したと思ってるの？ 英国連邦の歴史教科書は日本人は叩くけど、欧米の帝国主義とアジアの搾取については勉強させないわけ？」

赤道越しの第二次太平洋戦争勃発かと思われましたが、夫があっさり自分の非を認めて白旗降参したので、丸くおさまりました。

当国は白人がマジヨリテイの国ですが、この国の白人さんは気質的にはいわゆる欧米白人、というカテからは外れています。島国でもあるせいか、気質的には日本人に近いです。つまり、議論口論をあまり好まない。

そしてアメリカ的ごり押しを嫌い、オーストラリアの白豪主義にも不快を示し、英国人は気取っていて「イ・ヤ」……トモダチじゃないのかしらん。でも隣国やら宗主国から指示がでるとさくつと従うあたりも、どっかの島国に似ています……。

だからといってアジア人を差別しないかといえばそうでもなく、

ときどき急にスイッチが入ったように有色人種蔑視の発言や態度を發揮します（都会のほうにはスキンヘッドがアジア人狩りをすることもあるとか）

一般の人たちは無意識にやってしまおうようで、指摘されると自分でもびっくりしたように恥ずかしく感じるらしく、あっさり謝罪。当地の差別事情については後日記事にいたします。

当国の場合、経済的、技術的に日本に依存していることもあるのでしようが、日本人には好意的です。

それは置いときまして。

夫の発言に噛み付いた当時は以前の記事にも書いたとおり、ちらっと見る日本評は芳しくなく。今にして思えば隣国たちのロビイストが、活発に（そして組織的に）英語サイトで日本の中傷をしていたんでしょねえ。

私の近代東洋史観はつい最近まで学校で教わったと通りの「日本がみんな悪うございました」のまんまでした。だから、夫への反論も他の国だつてやったことなのに、なんで日本だけが何十年も責められなくちゃいけないんだ、的な論調で大人気ないものでした。

それでも、高校世界史の先生が反日組だつたのか、単純に愛国家だつたのか、なにげに日本を持ち上げるようなネタを挿入していたせいでしょか。なんか、近代の東洋史はどこか不自然だ、というのは漠然と感じていました。

まだ日本にいたときのことでしたが、何かの話のタネに、太平洋戦争突入のシナリオはルーズベルト大統領の謀略による誘導だつたとか聞くと妙に納得したものです。ただ、それを自分で検証したり信じたりするには、あまりに情報が手に入らない時代でした。

最近では近代史の見直しも前世紀末ごろからちらほら出始め、今

世紀になってからようやく洗脳が解けたひとびとの活動が一般の人々の目に止まるようになり「何かがおかしい」と思う人が増え始めたようです。

Sさまが感想で「学校教育は愛国方針に向かっていきます」というコメを下さって、とても嬉しく感じました。

日本が中共に呑み込まれてしまう前に、GHQが施した国民の洗脳が解け、日本を愛する日本人のための政体が再編成されることを祈ります。

実のところ、私がこうしてあらためて近代史をさらいなおしているのは、私自身の子供たちのためです。日本人は海外に行くとなんとはなしに居心地の悪さを感じるんですが、それは日本は過去に戦争という犯罪を犯したので世界中から嫌われている、という刷り込みのせいです。現実にはそれほどではないのですが、反日活動を活発にやっている団体がいるのは事実。捕鯨問題もそうですが、やはり自衛のために知識と論理的反証は必要です。

今年初め、アメリカ戦争ドラマ「パシフィック」が当地でも放映されていました。

子供も夫も食い入るように見てました。映像優先な感じがしなくもないのですが。

私は近代以降の銃撃戦というものが苦手な上に、こういうのはやっぱり「パールハーバー」みたいに、日本が悪者になるんだらうと思っただけ。前線とか戦場つてのはつまるところ、あんなものだらうって感じ。見ればよかったのに」と感想を聞かされたときは惜しいことをしたかなと思いました。

そういう自省作品がでるということは、イラク戦争でアメリカ兵士がイラク兵士を虐待したことが世界中に暴露されたことと関係があるのかな、と穿った見方をしてしまいましたけども。

ああしたアメリカの視点に立つてさえ、過去を再評価しよう、人種や国境を越えて人間性というものを見つめていこう、という動きがあるのに、日本では未だに自虐回路から抜け出せない人がまだまだ多い。多いだけでなく、日本を滅ぼすのが目的としか思えない日本人が政権を握っている。

私は考察の参考にする史料については、出典や引用元のはっきりしたものを基盤に考察するよう心がけていますが、居住場所の都合上ネットに頼るものばかりで100%保証しかねます。

読んでくださる方の不安を煽る目的で書いているのでもありません。

学のない主婦が、自分の子供たちにできるだけ史実に沿った日本人観を持つてもらい、貴重な私の一票を間違いなく使えるように

在外邦人にも選挙権あるんですよ 一生懸命考察した内容です。一読いただけ、日本の過去と未来について考えたり、時間がございましたら、ここに書いてあることを鵜呑みにはされず、そういった書籍やサイトで確認されるなどしてご自分の姿勢を決めていただけたら喜びます。

一主婦がこれまで隠されてきた日本人の真実、隣人たちの真実について考え直し、自虐史観から脱却。手塩にかけて育てている子供たちの未来について「日本人の血を引いていてよかった」と言える世界が一ミリでも広がるといいなと思うばかりです。

私の解釈や考察のベクトルは違うと思う、という意見や感想は歓迎です。

三人寄れば文殊の知恵、とありますが、一人で悩んでいたらへんな方向に行ってしまうすしね。

脱・自虐史観（後書き）

いつそ国民投票でもしたらどうかと思ったのだけど、日本の国民投票は憲法についてだけで、一般の国政や内閣議員に国民の是非を問うことはできならしい……。それなら憲法から変えて、国政についても国民が投票できるように改定してしまえばいい。どうせアメリカに押し付けられた憲法なんだから。

閑話休題・もしかして日本は終わっていたのか（前書き）

以前はヤフーのトップ記事をさらっと読むだけだったんですが、最近は一三新聞電子版と華僑系電子報（日本語頁もちろん）までチェックするようになって。  
なんだか毎朝が刺激的。

で、ちょっと愕然としたニュースを読んできました。（あ、舌  
噛んだ）

## 閑話休題・もしかして日本は終わっていたのか

「国会の記念式典で皇族に野次を飛ばした国会議員が……」

当国以外の外国には行ったことがないのだけど、当国には世界中から観光客、ワーキングホリデー、留学、移民が来る。いろいろな人種と親しくなる機会があるので、ちらっと話のタネに日本人についてどう思うか、どんな印象を持っているのか、日本人の美点があるとするば（どんなところか）。

答えは判を押ししたように「礼儀正しい・勤勉」ちよつと嫌だなっ  
てのが「従順」

私の世代でもう「礼儀正しい日本人」ってのは崩壊が始まっていた気がするのだけど、まだまだ日本人に幻想を持っている人々は多いらしい。

日本人の庶民に至るまでの礼節の高さは、戦国時代の昔から宣教師などの外国人来訪者が日記や紀行記録に残している。キリスト教のどの国にもないくらい、文化も民度も高かった。

日本がキリスト教に転化しなかった原因は、ここにあると思う。  
キリスト教というのは、ローマの国教になった時点でもう、庶民救済の教えは霧散して、権力側の愚民政策の道具に貶められてしまったものだから。大航海時代の宣教師というのは、原住民の洗脳を請け負う、欧米植民地政策の尖兵でもあった。

日本は戦国時代みたいな乱れに乱れた時代でも、宣教師が驚くほど庶民が礼節を知っていた、というある意味、世界的に見て超珍しい民族。神様の眼や、最後の審判という脅しがなくても、自制自律ができる民族性を持っていたわけで。

（注：日本民族がみんな清廉高潔でリツパだったなんて荒唐無稽な

ことを主張しているわけではなく。世界水準で見たらそういうことだった、ということではないかと。ころころと同盟相手を変えながら大きくなった戦国大名も、下克上也横行していたわけですし）

しかし、国会議員って、私よりも上の世代なはずなのに礼節を弁えてないとなると、「品性の高さ」で国際評価を得ている日本人の信用も地に落ちまくり。

皇族だからどう、という以前に、学校の朝礼とか、校長先生や園長先生が対象でも品性に欠けた発言をする児童生徒は叱責を受けるものだろうし。子供のしつけ程度のことになされていない人間が国会議員をしている日本って、もう没しきっている気がする。

しかも、国会議員の半分が議会開設120周年記念式典を欠席！皇室軽視も問題だけど、国会軽視の議員が半分ってのが露呈した式典でした。

G H Qの日本精神圧殺愚民政策、日 組の洗脳授業が、今まさに爛漫と花開いたと言うべきか。

ゆうちゆうぶにフジテレビの放映も、国会式典のようすも上がってるので、まだ見てない方は必聴。雑音が多くて聞き取りにくいのですが。

疑惑の議員ですが、ウイキで見たらとんでもないジジ……いえ、人ですね。なんでこんな人が国会議員なんだろう。スパイを国費でもてなすのもアレですが、この女性関係だけでもう、アメリカあたりじゃ議員生命断たれてますよ。国民寛容過ぎ、というか無関心すぎ……。

しかも、三重から……伊勢神宮のお膝元から皇室軽視の議員が選ばれるなんて。

ニッポンは八百万の神さまたちにも見捨てられたのでは……（涙）

毎日なんか吐いてくれる与党の皆様、ネットのおかげで世界中に

散らばっている日本人が注目していますよ。30メートル歩きたくない、緊急事態で100メートル移動できない、5分も立っていない、次は何をやってくれるんだろう、わくわく。明日が楽しみ。

### 皇室について私見

なんていうかこの過去三代の皇室の皆様って、皇室史上に例を見ないほどの重責と激務を背負わされているのではないかと。

皇室に生れたというだけで

楽器をひとつ玄人なみに弾きこなせるようにならなくてはならない。  
ヒドラだのナマズだのわけのわからないものを生涯研究しなくてはならない。

（皇族の本業は学者だというわけのわからない不文律のおかげで、なんか研究しないといけないらしいが、人気のある分野で皇族が実績を上げると、それで食べている専門家に遠慮させてしまうという配慮から、マイナーな研究素材を選ばらしい。国民に遠慮する皇族の人生って……）

訪問を請われれば世界中、日本列島どこへでも飛んで、外交や植林や記念式典や災害地慰安や施設訪問をしなくてはならない。

パンダ以上に常時監視されている。

自分の意見は言わせてもらえない。

言えば曲解されるか拡大解釈されるか、あるいは叩かれる。

職業選択の自由がない。

配偶者選択の幅が狭すぎる。

病気になっても取材されまくる。

30 を越える気温でも、スーツを着こなし汗ひとつかかずに笑顔で手をふらなければならぬ。

失政の続く政治家のおかげで底なしに落ち込んでいく日本のイメージを少しでも維持向上するために、外交では聖人君子良妻賢母な振る舞いを崩さない。

不適応症を起こしてヒツキーになると税金泥棒と非難轟々。

それなりの和歌が詠めないと失笑される。才能は関係なし。

皇室ファンだけでなく、皇室否定派からもパパラッチされる。

英国王室みたいな泥沼スキャンダルを起こしたことが（今のところ）ない。

こういうとんでもすごい人生にむりやり嵌められて、嫌な顔ひとつ国民に見せずに淡々と公務をこなされているというだけで、畏敬の念を覚えてしまう。

どうかながえても生身の人間には無理……嘗々と積み重ねられた遺伝子の賜物だろう。

人権が叫ばれるこの時代、皇族には人権がないような扱いだと思ふのは、私だけだろうか。まだむかしの、直轄領も貴族たちに握られてしまい、御所の屋根の葺き替えもままならず、築地も直せなくて逼迫していた天皇さまのほうがお気楽だったろうに。

映画で清朝最後の皇帝溥儀を主人公にした「ラスト・エンペラー」ってあったけど、日本の天皇家は二十一世紀における地上の「オンリー&ラスト・エンペラー」

世界最古の系譜を持つシーラカンスな皇統の記録を更新し続け、できれば30世紀まで生き延びて、世界最後の皇家（王家）という世界記録も樹立していただきたい。そして世界文化遺産登録（不敬？ すみません）

でも日本があと十年も持ちそうにないんだ……。orz……………

.

**人種民族の平等を世界で初めて提唱した国は大日本帝国（前書き）**

ちなみに、個人単位で初めて人間の平等を主張したのはジーザスとイエス・キリスト様。どこでどう曲折して白人至上主義のプロパガンダに利用されてしまったのか、今頃草葉の影でお嘆きに違いな

い。  
しかも二千年の間、磔にされっぱなし。

## 人種民族の平等を世界で初めて提唱した国は大日本帝国

これ、歴史の時間で習ったでしょうか。歴史は私の得意科目だったのだけど、記憶にない。今の日本史、世界史の教科書に採り上げられているのだろうか。

国際連盟発足（1920）という、これもまた世界初めての国際平和機構で、日本は設立時から常任理事国だった。しかも連盟の事務局長はあの五千円札の新渡戸稲造氏。五千円に肖像が載ったとき「私は太平洋の架け橋となる」というようなことを伝え聞いたが、こちらの具体的な国際業績のほうは忘れたのか聞いてなかったのか、そもそも授業でやったのか。

それとも、GHQや某組合が日本諸悪根源説を推し進めるために、パリ講和会議の議事録にさえ明確に記録されている事実を隠蔽したのか。

1919年、第一次世界大戦後のパリ講和会議で、日本は国際連盟の規約に「人種的差別撤廃提案：Racial Equality Proposal」を入れるように提案した。

これはある意味、白人至上主義時代の、欧米への挑戦と映った。

「五大国」に「入れてもらった」だけでなく「人種あるいは国籍如何により法律上あるいは事実上何ら差別を設けざること」を約す：

The equality of nations being a basic principle of the League of Nations, the High Contracting Parties agree to accord a son as possible to all alien nationals of states, members of the League, equal and just

treatment in every respect making no distinction, either in law or in fact, on account of their race or nationality.」条文を国際規約とするように申し入れた。

英文のほうは和文よりも随分と長いような気がするのだけど……  
こういう条文とか、意味がよくわからないんだな……（汗）  
引用元はウイキなのですが、少し残念なことに、英語・仏語・日本語の頁しかない。

しかも、英語と日本語の頁は微妙に温度差が違う……。

英語ウイキにあつて日本語ウイキにない部分（私の読解力がついていないだけかもしれないけど）

「日本代表はこの条文によつて派生する問題を理解していない」「すでに出来上がっている西洋優位の国際社会への挑戦」といった表現が見られる。また「日本代表からの印象では、日本国民のみに対する平等性を求めたものであつたが」……て、そうなのか？ 英語の提案条文にはそういうニュアンスがあつたのか（私には読み取る力がない）それとも会議の雰囲気ですう思われたのか。

確かに、当時日本政府はアメリカ西海岸の日本人移民排斥運動に頭を悩ませてはいた。

とにかく日本代表の思惑がどうであれ、当時支配差別されていた国や民族は欧亜のどの国もこの提案に興味を示し支援した。

喧々諤々の論争のあと投票を行ったところ、意外にも多数決で賛成が得られた。フランス、イタリア、ブラジル、ギリシャ、セルビア、チエコスロバキア、中華民国、そして大日本帝国。

反対は大英帝国、アメリカ合衆国、オーストラリア、ポルトガル、ポーランド、ルーマニア。

それまでの議題は多数決で可決されていたのにもかかわらず、日本人や中国人移民の問題を抱えていたアメリカが強硬に反対。こういう「重要な」問題は「全会一致でない」と駄目！」と言い出して、イギリスの同調を得て採決は見送りになってしまった。

民族自決の承認は欧州とその周辺のみの方に限られ、アジア人種の国際平等への扉は閉ざされた。

これを機に日本では反米、アメリカでは反日の気運が高まっていた。

第二次世界大戦、太平洋戦争の種は、もうこの時に蒔かれていたのだ。

こうした開国から連綿と続いて流れる歴史背景を見ると、「大東亜共栄圏」という思想が単なる日本軍による励戦プロパガンダではなく、当時の日本とアジア諸民族の切実な理想と願いであることが見えてくる。

第二次大戦後、歴史の流れが変わって民族意識の育ったアジアを再び植民地にできなくなったために、まるであたかも自分たちが言いだしつぺみたいに人権、人権と黄門の印籠のように振りかざすイマドキの某国と某国の親玉たち。

しかし、人種民族にかかわらず人権と平等を世界に問いかけた大日本帝国からどこで血統が変わってしまったのか、現代の日本政府は中共によるチベット・ウイグルの弾圧虐殺を見てみぬふりをしている。チベットを支援する一部の日本国民が長野オリンピック聖火リレーで五倍の数の中国人に暴行を受けても報道が規制されているので、国民にも知らされることはない。

ネットがなければ、本当に揉みつぶされちゃってしまっただけではないだろうか。

守り育てようとした某アジア人に扇動された、利権目当ての人権組織がはびこり、日本が貪り尽くされる時代が来るとは、ご先祖さまはなんと見るのだろうか。

人種民族の平等を世界で初めて提唱した国は大日本帝国（後書き）

注：オーストラリアは当時独立国でなく、大英帝国の一部だった。ゆえに投票権はなかったが白豪主義を進めていたので、賛成の意見も多かったという宗主国の英国に圧力をかけて反対派の優勢に持ち込んだ。

勝者が歴史を歪曲できるのは常識だけど……慰安婦問題（前書き）

中国でも日本のアニメは人気があると聞いて、尖閣島にアノ等身大ガンダムを大陸に向けて配置したら、中国を牽制できるんだろうかとか妄想してしまっただが、人民解放軍よりも大喜びのアニオタ人民暴徒にマジで占拠されるから駄目だと思い、脳内ボツ。

台湾からもたくさんオタツアーが来て大混乱になりそう……。

## 勝者が歴史を歪曲できるのは常識だけど……慰安婦問題

勝てば官軍、はともかく、敗戦国が自虐趣味で国のイメージを落としてどうする。

日本を中傷誹謗して賠償金を搾り出すための「戦争責任」の元ネタは捏造書籍ばかり。それも日本人が書いているんだから救いがない。

従軍慰安婦問題の火付け書籍「私の戦争犯罪」吉田清治著

作者がフィクション「『本人の妄想による作り話』であることを認めた。

この内容が捏造であることを調査検証、証明したのが、現地の聞き取り調査に協力してくださった濟州島の韓国人の皆様だった、地元の新聞でも否定報道をしてくださった、というところがミソです。濟州島の皆様に感謝。

話はここで終わるべきなのに、未だに国会とか某団体が賠償金を求めて騒いでいるのはどうということなのか。

「慰安婦」について当時の日本軍の慰安所記録やアメリカの調査記録を政府が調査したファイル（1991～1993）は外務省のホームページで閲覧できる。膨大な量で、手書きのカタカナや筆記体英語の調書は読み取りにくい。整理されたファイルを斜め読みしたところ、当時の内閣は慰安婦の採用において身元の確認、健康管理、身分証の発行などかなり細かいガイドラインを設定していたことがわかる。また慰安婦は、避妊具を使わない将兵は拒否する権利があるとか、将兵は慰安所以外で現地の女性と接触してはならないとか、かなり厳しい規律があった。

日本軍が一番怖れていたのは、性病の蔓延と、兵士の規律が乱れ占領地で略奪や陵辱を起こして占領地支配が難しくなることだった

から。

昭和10年あたりの通信記録では、支那人娼妓は性病保持者が多く、検査や治療に応じないこと、日鮮娼妓で間に合うから地元の遊郭は立ち寄り禁止にすること、また、慰安所の衛生を保つために廃屋など利用せず、施設の完備と軍規の維持などが通達されている。

かなり厳しい規則が定められていた慰安所の設立だが、経営と運営は主に朝鮮人や地元の民間業者に委託されていた。経営者がどれだけ慰安婦を搾取していたかについては、軍は干渉していない。それでも個々の慰安婦は利用者の一兵卒よりは高い報酬を得ていた。

高収入で設備の整った慰安所で、医療費は無料。外出のときは高級品を買ったり、恋仲になった日本兵とのロマンスもあったようである。

しかし、戦争が長引き、前線が伸びきり、補給が乏しくなってくると、事情が変わってくる。

昭和19年の内閣資料には、半島における国民徴用事務の増員に、徴用を忌避逃亡するのが増え、労働力が足りないので未婚女子の徴用もやむを得ないのだが、労働徴用が慰安婦に直結するというデマが流れて労働増員が困難になる、という部分がある。

韓国の反日慰安婦問題団体が労働徴用（挺身隊）と慰安婦の徴用と未だに混同しているようだが、すでにそういう誤報が当時はまかり通っていたことを物語っている。

思考停止の半世紀……。

戦局が悪化するにつれて、前渡し金を精算しお金を貯めた女性は帰国を許される建前にもかかわらず、帰国できなかつたとか、日本軍が撤退したり引き揚げた後は軍票だけが手元に残って稼いだはずのお金が換金できなかつたり　つまり給料を踏み倒され　という事実はあった。

だからこれは女性の人権とか、尊厳という問題ではなく、日本軍

側の契約不履行になるのだろうが、経営者が朝鮮人や現地の業者である以上、雇用者としての責任を放棄して逃走した彼らの罪も問題にされなくてはならない。

フィリピンやベトナムと違いアメリカに占領されず、反日の活動がなかったミャンマーやインドネシアは、その後の独立を日本軍の貢献と公式に認めている。そして日本軍の規律が厳しく略奪などしなかったことも、老人たちは回想で述べている。規律違反は軍法会議で厳罰に処されるからだ。

個人的には、軍としての建前の規律は厳しかったにしても、不良軍人や兵士はいつでもどこでもいるわけだし。戦局が悪くなれば将兵もささくれて軍規もゆるむだろうとは想像できる。最悪なのは出撃前日の兵士だという記録もある（具体的にどう最悪なのかは書かれていない）無許可や、基準を満たさない慰安所を黙認したりとかあったという個人証言はある。だがそれは軍規違反で、個々の部隊や将兵の犯罪であり、その賠償は既に為されている戦後保障の範囲だ。

現代でもDVとか暴力的な男性はどこにでも一定の一定の割合で存在することを思えば、戦時下という極限の状況で何が起こったかは想像したくない。

しかし、個々の慰安婦に対する保障は個人証言が頼りで、事実の裏づけが取りにくい。調査隊がインドネシアに乗り込んだときは、元慰安婦の掘り出しに、補償金目当てにありえない数の二万二千人（将兵の数と同じくらい）が名乗り出て、この成り行きにインドネシア政府が激怒した。戦後の日本人の自虐趣味につき合わされるのは迷惑千万だ、みたいなことを国際レベルで言われたりして

すべての個人証言には慰安婦制度が強制であったことを裏づける

ものがない、という結論に落ち着いている。

現在でも強姦の起訴では被害者に課される尋問のほうで精神的拷問なのだが、名乗り出た韓国の元慰安婦の証言が二転三転して一致しない部分が多すぎ、証拠として信憑性がない。そういうことがあるので感情論に流されるのは、私自身が女であることを差し引いても、誰かの罪を断罪するための証拠は、事実は事実として、客観的な根拠あるものでなくてはならない。

撤退のときに置き去りにされて悲惨な目にあつた慰安婦も少なくないことを思えば、こうした調査は歴史の掘り起こしとしては重要なことだと思う。思うけど、真実を体験した人は語りたくはないだろうし、声高に賠償を叫ぶ人たちの目的は「女性の人権」よりもどこやら別のところにあるようで、証拠や証言の捏造をも辞さない。真相はもう闇の中だ。

そういう意味で、1996年に日本が押し付けた、別に頼んでもない賠償金はもらっておくけど、元慰安婦には渡さずに自国の福祉に遣う、日本との補償問題は1958年の協定でかたがついている（からもつお金をばらまいて自己満足の謝罪するのはやめる・鈴鹿解釈）と日本に釘を刺したインドネシア側の見解はいい。

それに引き換え、上の捏造小説を某隣国が反日プロパガンダに掲げて法外な賠償を要求し、捏造を本人が認めた後も、憶測と感情論で固まった某団体が強硬に日本に謝罪と賠償を要求し続けているのは悪質としか言いようがない。

しかも、一番「賠償」「賠償」といって大騒ぎしている某国の元慰安婦は、日本人慰安婦と同格の待遇（設備の整った慰安所や単価が高い将校が客）であり、フィリピンやインドネシアの慰安婦よりも格上の扱いを受けていた、という部分は、どう解釈していいのだろうか。

まして、当の慰安婦たちの救済よりも日本軍と昭和天皇を含むすでに鬼籍に入った人々の断罪に血道をあげる「日本軍性奴隷制を裁く女性国際戦犯法廷」の活動とか、世界中に向けて、徹底的に日本を貶めようと言う陰謀としか思えない。そもそも性奴隷という言い方が悪意に満ちている。

管理と規律と、慰安婦の安全とわずかではあるが相手を拒否する権利が守られていた時期と、敗戦近くの秩序を失いつつあった時期の暴走は分けて裁かれるべきではないか。

慰安所の運営が日本軍の規則と乖離してしまった時期に利用された女性たちは、慰安婦制度の犠牲者ではなく、戦争の犠牲者であり戦争にはつきものの略奪と陵辱の被害者だ。相手が日本軍でなくても、女性たちは常にこうした虐待を受けてきた。そうした個々の罪と国家の罪を厳密に分類できない部分を解決するための国家間の戦後保障や協定であり、それを国家間で決められた協定を超えて個人のレベルで相手国を非難起訴するということが、国際法の秩序を乱すものではないか

誰もが被害者だった戦争の傷跡。

インドネシアのように、賠償金は誰もが被害者だったあの時代を生き残った人々への福祉にあてる 元慰安婦だという女性が優先的に受けられる老人福祉に という決定が一番、理に適っている。

外務省の数ページに渡る慰安婦問題の公式見解も自虐史観に満ちたもので、伝聞や「」と思われる「」はありえた「みたいな、個人ブログ感想と変わらない印象操作な文章が多いのはどうかと思う。総理大臣の声明も、歴史事実の認識よりもとりあえず謝っておけ、という態度がありありだ。

名前の出ている、アジア女性基金の活動家にしても、慰安婦とは

別件で「日本軍の悪事」捏造が指摘されているのだから下げたほうがいいと思う。

日本政府の公式見解なのだから、客観的な事実の積み重ねで歴史に向き合うことができないものだろうか。

人権主義は21世紀のカルト宗教で、心に傷を負った人々の憎しみを煽り金儲けに勤しむ、拝金主義の人間の集まりだという確信を深めることができる典型的な例だ。

勝者が歴史を歪曲できるのは常識だけど……慰安婦問題（後書き）

戦後も韓国政府が慰安婦制度を引き継いでアメリカ進駐軍に提供し、自国の女性たちを1960年から1980年まで「性奴隷」日本軍を弾劾する団体の言葉を借りれば「「として扱ってきたことが2009年、ニューヨークタイムズで暴露されている。

この報道は日本国内ではほとんど取り上げられなかった。取り上げたのは、例によって産経新聞と新潮だけという……。すっぱ抜いたのが崔相薫氏チエ・サンファンということだ。

濟州島の皆様といい、こちらの特派員といい、歴史を客観的に判断でき、反日一辺倒でない韓国の方がおられることを知るの嬉しいことです。

ウィキに載っているか、チェックしたけど……日本語ページしかない。

悔しいなあ……愛国者としてはウィキのチェックとか書き込みとかに参戦するべきなんだろうけど……英訳はあまり得意じゃないんだ。クラブ広報の原稿だって、冠詞や定冠詞の間違いがすごくて、単語の選択や言い回しが適切でないとか、赤字だらけで帰って来る始末の鈴鹿の英作文能力（涙）

「大」虐殺の範囲は……南京のアレ（前書き）

ウイキリークス面白いですね。

民 党が本当に某国のスパイ団体だという証拠が出てくれたら、危機感を持つ国民が投票に行つて日本国の首は繋がるんですけどね。

まあ、ウォッチしている限りでは「大使館外電」なんて外交官の愚痴とか井戸端会議みたいなものばかりで笑えますけど。

## 「大」虐殺の範囲は……南京のアレ

中国共産党の主張する南京大虐殺（1937）が本当にあったかどうか、ということなら、当事南京市民を保護していたマギー牧師が書き残した、人口の推移が南京陥落時が20万人で、後が25万人ということだ。

増えてる？

それよりも、中共が言い張る「30万人虐殺」って数字はどこから、何故、出てきたのか。

問題はそこにある。

マギー牧師は中立というより、東京裁判でもいわゆる「検察側の証人（当時はどう呼ぶのか知りませんが）」で、日本軍の擁護はしたくない立場の人でした。

しかし、マギー牧師は東京裁判の反対尋問で、彼自身が日本兵による民間人を殺害を目撃したのは、不審者の射殺（合法）の、一度だけであると証言しています。

この事件については、他にもいろいろな書籍やあちこちのサイトで検証されていますので、細かいことはここでは省きます。

とりあえず、鈴鹿の結論。「『大』虐殺」はなかったんじゃないでしょうか。

処刑された捕虜の数は半端なかったそうですが。一般市民まで無差別に殺戮して回ったなんてことは、上の数字を見るかぎりありえないでしょう。

それより、このいきなり降って湧いた『30万』という数字について考えてみます。

「ただ殺されたら「虐殺」と言えるのでしょうか。」

この「虐殺」の単位感覚は、資源や人口の限られていた島国日本人と、やたらムダに広い大地と無尽蔵の人口を抱える大陸人では、それこそ地平の端から端までの感性のずれがあると思います。

まず、大陸で行われた虐殺で、鈴鹿が知っている最古の記録が、紀元前260年、春秋戦国時代、秦の昭王が趙に壊滅的打撃を与えた「長平の戦い」です。

補給を断たれ、先に死んだ者の肉をくらうほどの飢餓戦線について降伏した40万の趙軍兵士を、秦の將軍・白起はどうしたか。

「前の戦でも趙人は秦への帰属を拒んで逃れた。後の禍根を断つために皆殺しにするしかない」  
つて、40万人を坑殺に処してしまいました。

40万で……どうやって数えたんでしょう。死者の数え方については言及した書籍を見たことがないので、鈴鹿の想像ですが、戦車の数で概算できるのではないかと推測します。（『六韜』より兵力の換算一例：戦車1台に騎兵10、歩兵80人。これなら戦車を数えればいいわけです。当時から掛け算があつたという前提が必要になります）

秦が最初の中原の帝国への道を固めた戦いでした。

それにしても、40万人を埋め殺す穴つて、どれだけの深さ大きなのでしょうか。小日本人には想像もつきません。

次に強烈に鈴鹿のトラウマに残ったのが、漢帝国成立へのプロローグになる「項羽と劉邦」で有名な楚秦の戦い。紀元前207年、項羽は降伏してきた秦の将兵20万人を、さくつと坑殺してしまいました。

秦帝国滅亡。

日本史でこういう大量殺戮は例がありません。日本は神武天皇の昔から降伏する者は臣下に迎えてきました。『後顧の憂い』を断つには、敵將の男系を滅ぼすだけで充分でした。

あの乱れに乱れた戦国時代でさえ、非戦闘民を無差別に殺戮したのは、織田信長による比叡山の焼き討ちの『二万人』ぐらいではなかったでしょうか。

他にも虐殺を行った武將はいるのですが、この出来事が当時の日本人の強烈に心に刻まれ、五百年の間、語り継がれてきました。『二万人』は日本人にとつての『大虐殺』なのでしよう。

まず非戦闘員を殺すという発想が、日本人にはなかったのではないかと。

戦国武將が戦うのは、領地の拡大と、その土地の資源と産業が目的。戦闘要員とはいえ、生産階級でもある足軽や中級武士まで皆殺しにしていたら元がとれません。人口にも、資源にも余裕がないのが日本の現実です。

なので。

日本軍が把握していた南京事件の死者は、処刑された捕虜1万4千人、それに民間人に紛れ込んで攻撃してきた便衣兵との戦闘を合わせて2万というのが、終戦時の日本の認識だったよう。これなら大虐殺と言われても仕方ないと当時の日本人は思ってしまったんじゃないかと想像します。

実際、中国が最初に国連に訴えたときの死者数は2万人。

東京裁判で提出された20万人という数字は、日本軍にも寝耳に水だったのではないのでしょうか。

ではどこから30万という数字がでてきたのか。

東京裁判前に2万という数が国連にスルーされたこともあります  
が、東京裁判のあとは国交の正常化のためにどちらも触れることは  
なくなりました。

この南京事件が再び取り沙汰されたのが天安門事件（1989）  
のあとです（こっちこそ天安門大虐殺と呼んだ方がいい。非武装の  
自国民を戦車でざくざくひき潰した政体として、永遠に歴史に残っ  
て欲しい）

中国では国内の不満が膨れ上がり、民主主義への動きが高まっ  
てきました。共産党内では強硬な反日派で知られる江沢民が実権を掌  
握していたこともあり、人民の恨みや不満をぶつけるスケープゴ  
ーが必要になり、選ばれたのが日本。

上にも書いたとおり、中国の民衆は、その四千年の歴史的に6万  
とかじゃ普通の虐殺としか思わないのじゃないか、充分なインパク  
トを与えないのではないかと考えたんじゃないかと鈴鹿は考えます。  
というのは、当時はまだ南京の民衆の記憶に残っていたであろう、  
1864年の太平天国の乱があります。

このとき、実に20万人が老人女子供を含めて清軍によって虐殺  
されているのです。それに先立って無条件降伏した蘇州の兵士8千  
人も皆殺しになっています。

文革（1966～1977）における粛清で、政府に殺された国  
民数は少なく見積もっても数百万人。

何事に於いても中国大陸のスケールは文字通り『桁違い』で、日  
本人の想像力を遥かに凌駕しています。

だから、日本軍の殺戮行為を『大虐殺』として歴史と民衆の胸に  
刻みつけたければ、この共産党よりも残虐で残忍、清帝国の規模を  
越えた大量殺戮でなければなりません。

なんせ、清帝国は最後の遊牧帝国ジューンガルを滅ぼし、推定60万人のジューンガル人を虐殺しています。そのあとその地、東トルキスタンを新疆地区と名付け……。ピンと来る方もおられるでしょう。清帝国が滅び、中共に取って代わった今、ジューンガルの祖地に暮らしていたウイグル人は弾圧され、核実験を46発も行い、推計で19万人が死亡、健康被害者は129万人とされています。

ウイグルの歴史は焼き捨てられ、ウイグルの言語は禁じられ、ウイグル族の女性は漢族の男性にめあわされ、民族そのものが地上から消し去られようとしています。

中共の情報規制は厳しさを増し、ウイグル地区内部のようすを世界へ伝えているラジオ通信が途絶えるのも時間の問題。

どうして平和に暮らしていたひとつの民族と国家を、地上から消し去らなければならぬのか。

中共は周囲の国が民主化されることを恐れ、そして、ウイグルの抱負な地下資源が欲しかったから。

話が逸れました。

そういう支配者を大陸の歴史ともいってきた中国民衆に死者「2万人」とか「6万人」と煽つても「いっぱい殺されたね」くらいで『大虐殺』はなりえない。自国の人民さえ戦車でひき殺すような指導層ですから、日本軍を極悪非道な日本鬼子として国民に訴えるには、30万殺戮でも5万件の強姦でも足りないんじゃないでしょうか。

そして、それなら現地で徹底的に科学的に調査研究しようじゃないか、という日本側の要求は拒絶。

この反日プロパガンダは、中共帝国の野望のひとつの段階に過ぎません。

戦時中のいち都市攻防戦を、ここまで誇張して国民を洗脳し、日本を国際社会で非難し、日本にお金を出させて記念館を造り、既成

事実にして謝罪を要求し続けなければならない理由。

日本人は過去の罪と言われると反射的に思考停止してしまう洗脳の檻から、ちよっと頭を突き出して、このいいがかりの背後にあるもの、中共の真の目的というものをゆっくり考えてみたら、答えはおのずから見えてくるのではないでしょうか。

ちなみに鈴鹿は中華文明はオタクレベルで愛しています。

だからこそ、シルクロードの回廊が核物質で汚染されたこと、中国の歴史遺産が文革で破壊されたこと、中共の一部の支配層を肥やすために、大陸の自然が現在進行形で破壊され汚染され続けていることに、深い怒りを覚えるものです。

「大」虐殺の範囲は……南京のアレ（後書き）

南京事件の写真を検証する、という「チャンネル桜」の特集をゆうちゅうぶで閲覧できます。そこでは南京大虐殺があったかどうか、という検証でなく、中共が証拠として出していた写真すべてが、盗用や流用、偽造であることが証明できる、という内容です。長いですが、一度御覧になることをお勧めします。

## 閑話休題 ある日の会話

夫が帰ってくるなり。

夫「中国の高速鉄道が時速400km越えたってラジオで言ったよ」

ちなみに夫は一日中、仕事をしながらFMラジオを聴いている。

私「うーん。日本の鉄道技術支援の賜物って話だよ」

夫「日本の新幹線の最高速度って？」

私「十年前に乗ったのぞみが当時の最高だったけど、その後は知らない」

夫「時速217キロメートルだったっけ……」

夫は、新幹線では窓の外より速度表示板ばかり見ていたことを思い出す。

すぐにネットにつないで確認。

「いつのことかわからないけどのぞみは最高時速300kmは出せるらしいね。今度帰ったらちゃんとスピード計見ておくわ」

「十年前でも速かったよなあ」

「今頃は空飛んでいるべきよね……あ、中国の高速鉄道は日本の新幹線特許のパクリだって。こういうときでも日本の技術支援に対する言及はないのよねえ。速度だけで日本の技術を越えたと言われている」

「日本なら新幹線で時速400km出せるんじゃないか」

「日本の地形や都市間で時速400km出したいと思いつかないんじゃないの。私は300kmでも怖い」

「そうだなよ」

アメリカとかアフリカでレールを敷いてみて、ほんとにどれだけ地上速度を上げられるものか、興味はあるけども、そんなに急ぐの

なら飛行機でいいじゃんとか思った。

ちなみにこちらの鉄道輸送はまだディーゼルが現役で、地方によつては主流だったりする。

（観光用だが、蒸気機関車もがんばっている（たぶん））

あとから世界最速の列車を検索してみても夫に教えた。

「新幹線より、リニアの高速化が進んでるんだね。有人走行で時速581キロ」

「どこの国？」

「JAPAN」

（自分で開発したわけでもないのに、胸を張り腰に手を当てそうになるのを我慢）

「愚問だったな」

翌朝。

「あ、ロシアが中国に技術貸与した戦闘機をパクられたって怒ってる」

「中国すごいな」

そのうち等身大ガンダムもエヴァも、甲殻機動隊もパクられて世界中に海賊版をばらまかれそうだ。

「渴えても盗泉の水を飲まず」と言っただはどこの国の偉人だったわけ？

閑話休題 ある日の会話（後書き）

当国の鉄道事情って、半世紀くらい前から変わってないと思う。  
首都でさえ15〜30分置きに通勤電車が出ていたという（十年前）

## 洗脳されやすい民族（前書き）

中国人カメラマンが伝える中国の環境汚染。7億人以上がWHOの基準を満たす水が飲めない 新唐人テレビ

<http://www.ntdtv.jp/ntdtv|jap/environment/2010-11-11/109234684978.html>

中国では環境と食品の汚染のために毎年80万人から120万人の奇形児が生まれている。 新唐人テレビ

<http://www.ntdtv.jp/ntdtv|jap/environment/2010-10-06/472267556987.html>

中国の環境汚染は、日本にとって対岸の火事ではない。

水の汚染は海流によって日本に流れてくるし、大気の汚染は偏西風によって黄砂のように（とともに）日本の大気も汚染していく。

新唐人電子台の背景はわからないのですが、中国の実体を海外の華人や華僑に伝えようとするものらしく、かなりショッキングな内容や、冷徹な批判眼でもって中国の実情が伝えられています。

## 洗脳されやすい民族

近代日本史と現在進行形の日本の外交を眺めると、今の日本の立ち居地が孤立を深めていった太平洋戦争直前のそれと似ていることに嫌でも気づかされる。

しかも、対外的には似ているが、内側が決定的に異なる。

それは、太平洋戦争前は日本の政府も国民も、日本が存亡の危機にあることを知っていたが、現代の日本人の多くはまだそのことに気づいていないということだ。

昨日の茨木の選挙では投票数は自民党が圧勝したが、民主は依然議席数を維持しているし、投票率が50%を下回ったことは、まだ国民の半分以上が眠っていることを示していないだろうか。

国内の状況が太平洋戦争前と大きく違う点のひとつを（かなり）端折ってではあるけど、外からの視点も少し含めて書いてみる。

中韓日は、それぞれ大陸人氣質、半島人氣質、島国氣質と、まったく異なる国民性を持っていて、理解し得ないまま互いの立場でしかそれぞれの主張をこなかった。それが近代の相克という歴史を織り出している。

どこまでいっても平行線の三国だけど、さすが同根のモンゴロイドというか、不思議なほど同調している部分もある。

洗脳による愚民政策だ。

現在の中国は共産帝国主義であり、一部の指導層とその支持者、あるいは指導体制側に見出された才能のある者だけがそれぞれの分野で高い教育を受け、残りの国民はそのときそのときの共産党指導

者に都合のいい教育だけを受けさせる。政府の号令ひとつで動く人民兵器の製造が教育とマスコミの仕事だ。

いまは密かに日本征服が当面の課題なので、抗日プロパガンダを煽る路線を敷いてきた。南京事件もそのひとつで、ひと世代前から国民の脳に摺りこまれていて既成事実になっている。

南北朝鮮は前王朝の李朝の悪政を断罪することを避け、近代化の過程で民族としての独立を自力で勝ち取らなかった事実を隠蔽することに必死だ。その責任を日本に押し付け、悪者に仕立てるために歴史を歪曲させ、日本統治時代の功罪の「功」の部分すべて塗りつぶして国民を教育している。さらに親日罪なるものまで作って日本に好意的な言動や行動をすると財産を没収するなど、真実を見抜く力のある国民の口を塞いでおくことにぬかりはない。

自力で戦後の独立を維持してきた台湾やインドネシア、ミャンマーのように、彼らの独立を後押しした日本帝国の功績も評価する立場をとると、これまでやってきた慰安婦問題の嘘も認めなくてはならず、賠償や責任の追及ができなくなる。韓国側が国策である反日偏向教育を認め改めたところで、日本国民はありがたいと思いきそすれ（その気質上）怒って責任を追及したりもしないし、これまでしてきた賠償を返せとも言わないだろうけど、国のメンツをかけてもそれができないのが半島人氣質らしい。

日本はGHQの戦争責任なすりつけ教育を踏襲したニッキョウソが、GHQが手を引いた後も中韓の反日組織を原動力に、戦前の日本がファシズムに染まった軍国主義の侵略国家であることを戦後世代に刷りこみ続けた。

慰安婦問題や南京虐殺が戦後すぐでなく、高度経済成長で日本が立ち直った頃に青天の霹靂のように叩きつけられたのは、戦後の記憶とニッキョウソの影響力が薄まりつつあった時期とも一致している、未来永劫、日本に土下座させ続けるための再洗脳措置と、今に

なれば納得できる。

当時から今日まで「みんな日本が悪かった」が見事に刷りこまれた世代が有権者であり、その代表が政権を握っていた時代が続いている。反日国家や組織にとっては、日本人が冷静な検証もせず、彼らの言い分を認め、いくらでも謝罪し底なしにお金をばらまくので、笑いが止まらない時代だったことだろう。

東亜の三国（というか、四国）は教育で子供たちを洗脳し、新聞やテレビなどのマスコミで情報を操作して大人たちから真実を遠ざけてきた。

以前、ゆうちゅうぶで日本の男子新体操を見ていて、その6人の一系乱れぬ演技を見て感心した夫がこう言った。

「こういうのって、ヨーロッパ系人種には不可能だな。群と個の境目が曖昧なアジア人特有の特殊能力と云うか……」

マス・ゲーム  
団体演技の完成度の高さは北朝鮮が一番だろうが、この東亜モンゴロイドは集団でひとつの方向を目指すのがとても得意。遣伝子レベルで演技でもイデオロギーでもまとまりやすい。アメリカの世論を、太平洋戦争開戦まで持っていこうと四苦八苦したルーズベルト大統領から見れば、羨ましいくらい洗脳しやすい国民性、民族性だ。

政府や隣国の政府の都合で嘘の教育や選別、歪曲された情報で思考能力を奪われて愚民化された、三国（というか四国）の国民が一番の被害者。日本にいたってはゆとり教育で総合学力の低下まで謀られて、最後の砦だった高い技術力も、その頭脳を維持するべき次の世代は凋落の危機にさらされている。

（だからといって、それ以前の詰め込み試験漬けの受験戦争教育が良かったとはとても言えないけど）

日本人の洗脳が解け始めたのは、さすがに三世代め四世代めが、

いつまでも続く謝罪と責任追及に嫌気がさしたこと、ネットの普及で海外の報道、反日に反対する日本人の声が一般に届き易くなったことだろう。真偽のほどはわからないが、今までとは違う情報が手に入り、その判断が個人に任される。

そこへ洗脳世代でももつとも左よりの政党が政権を握って日本人の国益に反する政策ばかりを進め、さすがにこれはおかしいと思う人も増えているところへ尖閣の事件だ。

実は私のそのひとり。以前から中国の野心はありえると思いなながらも、ないと思ったほうが楽なので眼を逸らしてきた。中共がこの七月に制定した国防動員法もあわせて考えると、日本人はもつと危機感をもつたほうがいい。

幸い、日本にはまだ幸運が残っているらしく、スパイの集団なのか、中共の傀儡なのかという売国政策を焦って日本国の解体を急ぎすぎた与党は、実は無能な集団でもあったらしく、尖閣からこちら不祥事続きで国民の不信を引き出してくれた。

まだ主要のマスコミは彼らのミスを隠蔽し、擁護することに必死で、与党は直接間接に言論の弾圧をすでに始めているが、ネットではほとんど彼らに不都合な情報が拡散されている。

反日の大手新聞やテレビ局、隣国主導の情報操作媒体の某公共放送が垂れ流す反日情報しか見ない有権者がいたら、その人の洗脳を解くこと。ひとりでも多くの「日本人」が次の選挙に行き、日本国民の利益を優先させる政治家に投票することで、日本国の滅亡をとりあえず食い止めることは出来るかもしれない。

そりゃ肥満国家にもなるでしょう(前書き)

一ヶ月の日本里帰り直後に引越しというハードスケジュールで「ニッポンが危ない……と思う」の情報収集する時間がなく、継続が難しいです。

一時的にですが、章を変えて帰省前後のドタバタなど、お届けします。

## そりゃ肥満国家にもなるでしょう

年末年始に帰省して、鈴鹿は自分が肥満寸前であるという自覚を持つに至りました。

そこで帰国後はダイエットしてみたり、運動したりしてます、というつぶやきをブログに載せていました。

もうすぐ誕生日なので、ふたまわり小さな服を買ってもらうのが楽しみ、と書いたところ、

「あらかじめ小さい服を買っておいて、眺めていると励みになります」

という意見をいただき、さっそく街の服飾店へ行ってみました。

秋物（ここは南半球）がそろそろ出回っていて、秋色が盛りだくさん。

楽しくなってきました。

当国の婦人サイズ表示は「8、10、12、14、16、18」なのですが。

鈴鹿はここ十年、サイズ10と12の間をいたりきたりしています。

とりあえず、コーデユロイのズボン、選んだデザインで一番小さかったサイズ10を試着。

過去最高に太っている今の自分ではきついかもと思いましたが、ジャストサイズ。

伸びる素材だったからかもしれません。

店員さんに「もっと小さいのはないの？」

札を見た店員さん「この種類はこれが一番小さいわ。これじゃだめなの？」

他のも見ましたが、半分以上の秋物の最小サイズは「10」。  
「8」をそろえている種類はとても少ない。

肥満警報のでている鈴鹿のジャストサイズが「10」で、その下のサイズがあとひとつしかないって……。

日本の厚生省栄養課のグラフによると、鈴鹿はあと12kgは減らす必要があります。

12kgも減ったら、サイズ「8」でもぶかぶかじゃないでしょうか。

この国には健康サイズの女性服が売ってないってことですか？

小太りから肥満警報と肥満のサイズしかないんですか？

どつりでみんなに「鈴鹿は太ってなんかないよ」とおだてられるわけです。

そもそもこの国の食生活が高たんぱく、油脂過多、砂糖過剰で、ために低カロリーのを自炊しないとすぐ太ります。

周りが太っている人ばかりだと、ついつい自分は大丈夫だと思つて何年もきていました。

夫が「サイズが14になったら女も終わりだ」とは言っていましたので「14」にだけはなるまいと努力してきましたが「12」が肥満警報サイズなら「14」は肥満サイズですよ。

ちなみに当国の肥満率は世界第三位。

人口が400万人と、横浜市の人口くらいしかないのに、この肥満率。

国としても、かなりまずいだらうとひしひし思います。

そりゃ肥満国家にもなるでしょう(後書き)

鈴鹿の住んでいる地域は人口三千人の小さな街なので、都市部にいけばもう少し小さいサイズも豊富にあるかもしれない。

目標サイズを達成のご褒美は、都会(といってもせいぜい人口十万人)へ行ってお買い物、ということになりそうです。

キウイっ子が選んだ日本のベスト3（前書き）

年末年始を日本で過ごした子供たちの感想

## キウイっ子が選んだ日本のベスト3

次女10歳

1. プッチンプリン……ケーキ屋さんやコンビニのおいしい焼きプリンは駄目らしい。

私の兄がつるん、と一口で飲み込んだら、あまりのもったいなさに泣き出した。

2. 神社のお守りシヨッピング……どれが一番効くのか、さんざん悩んで買った袋イッパイのお守りを鞆から下げている。

3. お寺の仏像や守護神像……とくに風神がお気に入り

私「怖くない？」（キリスト教的感觉ならogre（オーグ：人食い鬼）みたいな形相）

次女「No, he is kinda cute!」「怖くない、こう、なんとなく可愛いじゃん」

帰国してからは、風神雷神の画像をネットで集めて印刷、学校のノートに貼ってご満悦。

学校のバイブル授業は嫌いで無神論者の次女は、「日本の神様は好き」と、移動するたびに「今日は神社、お寺？」と訊いてくるほど神社仏閣にはまってしまった上に、出雲古代博物館では弥生式土器にも魅せられたらしく、写真をとりまくり（許可された展示物）レプリカの銅剣のキーホルダーも買い込む。しかも、建築にも興味を持ったらしく、門や屋根の飾りや構造も一生懸命撮っていた。

今は金閣寺のジグソーパズルに燃えている。

次女は日本に帰化するかもしれない。

長女13歳

1・Naruto……こちらではまだ放映されていないのだけど、漫画とアニメを見てはまりこむ。

キャラクター本を買ってあげたら、頑張つて読んでいる模様。ハンカチやタオルを買い込んで、部屋に飾っている。

2・ワンピース……やはり漫画とアニメではまりこむ。

宿泊先にワンピースが全巻そろっていて、観光よりも宿で読みふけるほうがいいとのたまい、携帯にルッフィーのストラップがご自慢。

こちらの地上波で放映してもらえるように、テレビ局にメールを送ろうかと思案中らしい。

3・忍者の館……任務を全うできなかったらしく、次に日本に来たときにリベンジをはかるべく、漢字を勉強するつもりだそうだ。で、てくるときにもらった残念賞の皆伝免許（読めない）を壁に貼っている。

印の結び方や忍者グッズに日本人の母より詳しくなった。

日本に忍者の学校は実在しないと断言したらがっかりさせてしまった。

同じく年末年始を北海道のスキー場で過ごした次女の同級生（両親共キウイ）

1・パウダースノー\*

2・日本人（みなさん親切で優しくかったそうです）

3・日本食（何を食べたかは名前を覚えてなくて説明できなかったのですが）

\*日本のスキー場の雪は転んでも痛くないし、滑りやすく、子供たちにとっては適度な湿気で雪だるまや雪玉が作りやすく、こちらの

乾燥した硬く細かい雪に比べると本当に素晴らしいです。

帰省中に山陰地方を襲った雪は重すぎて悲惨でしたが。

みんな、また日本に行きたいそうです。

**原発を止めても、電気は足りなくなったりしない（前書き）**

海外から、毎日固唾を呑んで日本を見守っています。

日本政府の公式見解やネット中継で見るNHKの報道と、海外で報道されている危機感の温度差に、どちらを信じてよいのかはわかりませんが。

友達や家族に、いつでも来ていいよ、と声をかけたけど。

日本が好きだから、どこにもいかずにここで頑張るよ、と応えた。

とても誇りに感じたと同時に、自分が恥ずかしくなった。

今はただ祈ることと、募金活動などできることを探しています。

在外日本人のコミュニティでは、そうした呼びかけが大きく広がって在住地で募金を呼びかけたりしています。

海外にいる日本人の多くが、同じ気持ちです。

Pray for Japan.

## 原発を止めても、電気は足りなくなったりしない

原発と隣り合わせの街（21世紀に統合されましたので、今は原発の市ですね）に住んでいましたので、いつ地震がきて発電所が破壊され、逃げることもできずに被爆するのではないかという恐怖は、チエルノブイリ事故、阪神淡路大震災のときから、ずっと頭の片隅にありました。

いまこのような事故が起きて、日本という国が立ち行かなくなる事態に際してまだ、原発擁護を続ける人が多く、反原発発言を叩いている動きをツイッターやゆうちゅうぶ、関係サイトで見かけて暗澹とした気持ちになります。

兄夫婦も、実母も、口をそろえて

「原発を止めて、じゃあ、足りなくなる電気はどうしたらいいの？」

戦後を生き延びた母でさえ、潤沢な電力供給のなかった時代のこと  
も思い出せない。

ゆっくり状況を見渡し、分析し、どこを節約し、切り離し、我慢すれば、今の四分の三の電力でやっていけるのか、具体的な数字を出せるはず。

だって、日本人って、賢い（はずな）のだから。

算数数学はからきしなのですが、減らせる部分については少し心当たりがあります。

民主党の松井孝治氏のサイトから引用

『日本の人口は、二〇〇六年をピークに、そこからは毎年約六〇万

人ずつ減少していく。六〇万人という数字を都市に置き換えると、だいたい新潟市一つ分、二年で仙台市一つ分ということが出来るだろう。つまり、二〇〇七年から日本は毎年、新潟市一つ分の人口がポコリポコリと抜け落ちていく計算である。われわれは人口の自然減に任せるべきか否か。選択の時を迎えているのだ』

松井孝治氏と民主党は『だから、毎年移民を1000万人受け入れる』ことを推し進めてきた。

原発の乱立が行われたのは、ベイビーブーム世代が独り立ちして世帯数が鰻上りだったあたりから、経済成長著しい頃。いくら電気があっても足りない時代だった。

日本という大船がひっくり返りそうな今、在日外国人たちは日本を捨ててどんどん逃げている。

どうぞどうぞ、早く家に帰って、祖国の大切な人たちを抱きしめてあげて。

逃げるところがある人は、安全なところへ逃げて欲しい。

人が減れば、食べ物も燃料も本当に必要な人たちに行き渡る。

二十一世紀の今の日本。

少子化、高齢化で人口が減り続けているから、高度経済成長時代やバブル期ほどの電力も必要ない。

生産工場を海外に移した企業も多く、原子力時代に入ったときほどの工業化も今は下り坂。

必要なくなる電力の計算ができる学者はいないか。

減り続ける60万人が消費しただろう電力の計算ができる教授はいないか。

いなくなつた在日外国人の電力が計算できる会社はないか。

いらなくなる電力を数字で示せる人がいれば。一般の人々は希望が

持てるはず。

そして、残った人々が節電することで余ってくる電力の計算ができる人がいないだろうか。

計画停電で大騒ぎをしているけど、ここ、ニュージーランドの南島では計画節電は年中行事だ。

全体降雨量が少ないのに、水力発電に頼っているから、乾季にはダム水位が下がり、電気が足りなくなる。

夜になると送電がなくなることは珍しくなく、ラジオや広報を確認しなかったために冷たいシャワーを浴びて驚いたりする。

ただ、この送電ラインは、家の電気が一定時間、全部落ちる設計にはなっていない。電力を消費する温水タンクの送電だけが止められたり、まだ経験したことはないけど、段階的に停電になったりすることもあるらしい。

始めから電力が不足する時期に供えて、節電対策が送電設計に織り込まれているのだろう。

その一方で節水も呼びかけられる。

各戸で芝生に散水できる日が限られてくる。

早魃になっていよいよよとなると、計画停電の広報には眼を光らせてないといけない。

また、節電対策のひとつに、太陽発電を設置する世帯には補助金もあるし、街灯の多くは昼間に蓄電するタイプのものが普及している。

ニュージーランドは横浜市の人口しかない。

だから水力や風力発電だけで賄えるんだろう、と言われるのもっともだ。

だけど、日本よりふた周りほど小さい国土に、たったこれだけの人

口で先進国並みの生活水準を守っているのはある意味すごいことだと思う。

ニュージーランドはG7にもG20にも入っていないのに、国民がすべて携帯やPCを持っているような国だ。インターネット設備は、日本よりきめが細かい。

そして、ニュージーランドは移民国家でありながら、移民の制限はとても厳しい。

誰でもいいから、国民の血税を使っても年間1000万人も外国人を入れようなんてとんでもない。

お金か、知識か、技術を持っている人間しか移民できないシステムで（表向き）移民を篩い分けている。

（もちろん、結婚、家族移民という裏口とか、難民受け入れ枠などもある）

そして、誰もいない大地をたくさん残してある。

開発もしない。放置してあるとっていい。

物価は高いし、失業率も高いし、賃金も低い。

それでも、個々の家庭は何故か日本と同じ生活水準は保っている。

こちらの人の大半は、夜は早く寝る。

屋内の電気はあまり明るくしない。

読書や料理など、手元に必要なところだけ明るければいい。

それから、交通信号も都市の市内にしかないので、田舎では信号に送る電気を心配する必要もない。

どうやって交差点を渡るのかというと、ラウンドアバウトという仕組みで、右折車から優先に交差点に入っては出てゆく。交通整理のおまわりさんもない。

ラウンドアバウトのない交差点では、停止線のある道路の車が優先道路の車に譲り、次に右折車が優先になる。慣れてしまえばそれほど

どもたつかずに交叉点を通過できるようになる。

削れるところを見直して、放射能に脅えなくてすむ社会は、日本人なら作り出せるはずだ。

人は、ものがないならに、補うすべを見つけ出す生き物だから。

収入が減れば、家計を見直して支出を控えて予算を組みなおすのと同じことだ。

子供たちの未来を守るために。

発電をやめても、放射能を出し続ける原子炉と燃料や廃棄物は何十年も、何百年も残る。

今、世界中がもつともおそれているのは、福島3号機のプルトニウムの漏洩。

『冥界の王』という名を与えられたその物質による汚染は、2万4千年という人類の文明スパンにとっては半永久的な時間、地上に存在し続ける。

A B C放送は『このデッドリー・ジーニー（死の魔神）を果たして日本が封じ込めることができるのか』と原発危機の報道を結んでいた。

このお金ばかりかかって何も生み出さない、命と健康と幸福を削り続けるだけのゴミをこれ以上子供たちに押しつけなくてすむ方法を、みんなで考えようよ。

**原発を止めても、電気は足りなくなったりしない（後書き）**

そして、もしこの報道が真実なら、原発は日本にあってはならない  
ものです。

[http://www.jca.apc.org/mihama/  
rosai/elmu0030608.htm](http://www.jca.apc.org/mihama/rosai/elmu0030608.htm)

『日本の原発奴隷』

日本の繁栄がこのような最貧の人々の命と健康を踏みつけにして成  
り立っていたのだとしたら、そんなものは「NO」だと言える勇気  
を持ちたい。

## 海外の過剰反応は政府の情報隠蔽が原因だから（前書き）

21日、こちらの報道は「原発の冷却は『Under Control』になったもよう」と放送していました。

海外メディアの関心は、リビア戦争勃発の危機へと流れてしまったようです。

でも原発が問題なのは、普通の火事と違って、制御可能になってもずっと冷やし続けられないといけないこと。

最悪の事態がとりあえず回避されたからとマスコミの興味が他に移っても、現場はこの先ずっと漏れ続ける放射能と戦い続けられないといけない。

そして現場に立って命を削って放射能から人々護っているのは、利権を貪ってきた保安院の天下り連中や、議員、財閥じゃないってことを忘れてはいけない。

今日の内容は、どうがんばっても上から目線になってしまいました。表現を不快に思われた方は、するっと退避してくださいませ。

## 海外の過剰反応は政府の情報隠蔽が原因だから

海外報道がヒステリックだとか、過剰反応だ、という意見をネットで見かけた。

まったくそうでないとは否定しない。

放射能汚染に対する退避基準とか、アメリカと日本じゃズレがあるということもある。

洗い落とせる外部被曝だけを対象にして「大丈夫」といい続ける日本と、体内に放射能を吸収してしまった場合の内部被曝も前提に退避基準を設定している他国との違いもある。

政府が「大丈夫」と基準にしているのは、成人男性の被曝量で、胎児や乳幼児のことは言及していない。

一度でもチェルノブイリのその後ドキュメントを観た人なら、今回の事故がチェルノブイリよりましかそうでないか、ということではなく、放射能汚染というものが国境も世代も超えて街を、人々の健康と幸福を蝕んでいくものだとわかるはずだ。

四半世紀が過ぎたチェルノブイリ旧発電所の『石棺』は劣化が著しく、未だに漏れる放射能対策に、巨額の予算を投じてさらにかまぼこ型のドームを建設して発電所を再封印する。

そして一番の被害者は、いつも子供たち。

成人男性や健康な女性なら内部被曝しても『安全』な放射能量も、胎児や乳幼児、成長期の子供たちの未来を奪うに充分であることを母親は知る必要がある。

現政権が、国民の福祉や国益より、自分たちの都合と面子を優先する人間の集まりであることは尖閣諸島のビデオ隠蔽で暴露済みだが、この未曾有の大災害と大事故でも国民や海外メディアが納得できる

情報の公開をしていない。

各国のメディアは自分の国の基準と合わせて考えて、日本の基準や対応が甘いと感じ、日本側の歯切れの悪い公開情報に疑心暗鬼になるのは当然の成り行きだ。

ついでに東電の過去の原発事故に対する隠蔽や改竄、誤魔化しがすっぱ抜かれて、国際信用も地に墜ちてしまった。

ロシアにまで「経済的利益を安全より優先させた」< お前が言うな（心の声）>と評されるという、腹が立つけど何も言い返せない状況。

津波に対する同情が冷め、不信から生まれる反日感情まで招いてしまふ。

台湾のメディアにまで「冷静な国民、迷走する政府」的な意味のことを書かれるくらいだから、現政権の国際評価もわかるというものだ。

<昨夜21日の東電副社長の記者会見も意味不明だった。ボソボソとして聞き取りにくだけでなく、状況説明が日本語として成立しなかったし、質疑応答という形式にすら達しなかった。日本人にも理解できない現状説明を海外プレスにどう翻訳、納得してもらえというのだ>

東電がすぐに海水による冷却を決断しなかったのも、炉が再利用できないことの損害が理由だとして『落とす百円玉を拾おうとして、十円玉を拾い上げるような行為（米）』と評されているところに、『何故、20-30km圏内の住民を避難させないのか』という疑問に対して、20kmから50km圏内の人口を示して『政府と東電は避難住民に支払う保障金額を心配しているのではないか』と、試算つきで憶測されているのだから救いが無い。

国民の安全よりもお金を心配する政府であることも暴露されてしま

った。

日本政府が提供する情報が信じられず、現政権の危機管理能力に疑問があるとなれば、『考えられる最悪の事態』に備えて、各国の代表は自分たちの基準で在日異邦人に対して避難を勧告する義務があるし、いつでも使えるように安定ヨウ素剤を供給する義務がある。これをヒステリックな反応と非難するのは、見当違いというもの。納得のいく情報を得られない責任者が下す判断としては、冷静なところの上ない。

両者の立場や状況を考えてみれば、事態を過小評価したがる一昨日の日本政府の公式声明が「原発事故の危険レベル5」スリーマイルと同じ」で、その一日前に報道されたABC放送が推測した「危険レベル6.5」チエルノブイリの一歩手前」なら実際のところの「危険レベルは6」あたり、と考えてちょうどいいのではないだろうか。

さて、今回ものすごく協力的なアメリカ様の原発事故支援体制。かなり初期の段階から「うちの専門家を」「うちの特殊部隊を」「わが軍の高圧放水機を使い！」と鼻息が荒かった。

原発事故回復支援に即刻腰を上げたオバマ大統領と現政権は「原子力発電推進派」

今、日本で「原子力とは有事の際に人間の制御力を超えた超危険な存在である」ことが世界に証明されてしまったらものすごく困る。何が何でも、被害を最小に食い止めて、原発の安全性を証明しなくてはならない。

だから後から振り返ってみれば内政干渉寸前の「アドバイス」をし、日本がそれを採らないのもものすごく苛立った。

この件で世界の一般民の知るところとなったアメリカの原発専門家部隊や、百人千人単位で構成される原発事故対策特殊部隊の規模と充実ぶりを見れば、原発専門でない自衛隊や機動隊、消防隊による50人単位の「善良で勇敢な市民」に押し付ける東電と日本政府のやり方は、不安で不満でしようがなかったことだろう。

結果的に、アメリカの「アドバイス」を菅首相が始めから聞いていれば、被害はもっと少なくてすんだのではないかと分析されている。有能な人材は叩かれ、無能な人間を神輿に据えるのが慣例になってしまい、指導力のある政治家が育たない日本の土壌を思うと、いつそアメリカ合衆国日本州になったほうが国民は安心して暮らせるんじゃないだろうか。

アメリカほど「国益」を守ることに血道を上げる国もないことだし（あ、でもそうなると原発産業が推進されてしまうか）

そして西海岸にまで放射能が到達したことを、日本人はひとりひとり深く考える必要がある。

急いでヨウ素剤を求めて右往左往したり、放射能探知報告に神経を尖らせるカリフォルニアの人々をヒステリックだと言える権利は、その放射能を太平洋に撒き散らした原因である日本人にはない。

地球は繋がっている。

みんなひとつの船に乗っている。

日本の不幸と苦しみは、さざ波になって世界中に広がっている。放射能だけじゃない。

日本に経済的に依存している国はたくさんある。

その国々の経済も混乱し、失業して路頭に迷うであろう人々には、災害補償金も見舞金も、義捐金も無関係。困窮を自力で切り抜け、人生を立て直さなくてはならない。

安全なところにいる人間なんて、ひとりもない。  
原子力発電を取り除くことは、起こりえる取り返しのつかないであ  
ろ。未来を回避する、ひとつの選択肢だ。

**海外の過剰反応は政府の情報隠蔽が原因だから（後書き）**

群発化している地震ですが、日本に五十以上ある原発が、複数同時に同じような事故を起こしたらどうなるでしょう。

福島原発ひとつを鎮めるために、日本のもっとも勇敢で優秀な部隊を使い果たしてしまうところだったことを思えば……。

やはり、原発は要りません。

## 朝日新聞の偏向報道はつくづく偏向している(前書き)

鈴鹿が読んでいるニュースサイトは朝日新聞、産経新聞、日経、時々読売新聞、これ読めとツイッターやブログで紹介されているヤフーなどのネット速報、NHKネット中継、ABC、BBC、CNNなどです。時間があれば中華華僑系のサイトをいくつか回ったりもします。

## 朝日新聞の偏向報道はつくづく偏向している

マスコミの偏向報道は今に始まったことじゃありませんし、今回の災害の報道も国内から非難の声が上がっているようですが、一向に改まる気配がないようです。

震災当初、私が一番知りたかったのは、避難所のようすでした。

仙台には親戚がいて、子供の頃可愛がってくれた叔父叔母がどうなったのか、西日本の母にもよくわからない状態でした。

カメラが回っている間、知っている顔がないか、一瞬しか映らない背後の人々の顔やようすを注意深く見つめていました。

また、自分の旧姓と同じ（つまり親戚かもしれない）人々の名が生存者や行方不明者になるとそちらも、胃が絞られそうになりながらも眼が離せませんでした。

被災者たちの悲惨な状況を追いかけて報道することの是非は、わたしにはわかりません。

彼らの背負った不幸も、安全なところにいる人々は知るべきなのかもしれません。

でも、こうした報道を重ねていけば「安全なところにいる人々に、無事であること、何もできないことへの罪悪感」を植え付け、被災しなかった人々は無力感に苛まされます。

事実、被災してないのに体や心の不調を訴える人が増えていて、自分自身のメンタルケアを呼びかけるサイトが増えています。

それは海外組も、西日本や日本海側、北海道方面の人々もみな同じ。今、無力感に打ちのめされている人々は、日常を維持し、日本を支えることで精一杯。

「大丈夫」とか「頑張らなきゃ」と自分に言い聞かせているとき、人は本当はとも無理に限界を引き伸ばそうとしている。

そんな人々に、繰り返し被災時の恐ろしい映像を繰り返し見せつけ、被災者たちのプライベートまで掘り下げ、胸を抉られる境遇を流す報道に、国民は希望を持てるのでしょうか。

被害の全像が明らかになってから見たいと願ったのは、自衛隊や、警察、消防団や各国の国際レスキュー隊の活動でした。

彼らの活躍には希望を与えます。

壊滅した街の光景は何度見ても心を抉りますが、その瓦礫や残骸のなかを搜索し、希望と絶望を乗り越えながら活動している救助隊の映像や、苦難に立ち向かっていく被災者の笑顔には元気づけられます。

そういった光景を見た子供たちや若い人たちは、ああいう職業があるのだと、日本と世界中から日本を救うために救助のプロフェッショナルが集結し、昼夜休むことなく助けられているのだと知る機会にもなる。

このような災害はこれが初めてでもなく、最後でもない。

国と国が、民族や宗教や過去のしがらみを乗り越えて手を取り、助け合っていくことは人間の歴史ではとても新しい流れで、国際救助隊の必要性はますます高まっていくでしょう。ボランティアなり、プロフェッショナルなり、各国に豊富な知識と技術が育ち、分け合えるということの世界に示すまたとない機会でもあります。

打ちのめされた人々を命を賭けて救おうとし、守ろうとし、死者も丁重に持ち帰るために不眠不休で働いている人たちがいる。そういう映像や報道を眼にすれば「現地で被災者を支える人たちを、自分たちが支えるんだ」という明るいパワーが生まれると思うのですが。

そんな中でも艦隊ごと動かして東北沿岸の救助作業を続けてくれる

アメリカのOperation Tomodachiの活動ですが、朝日新聞の報道にカチン、と来ました。

論調がですね

1. アメリカが太平洋諸国の災害救助に積極的なのは、中国を牽制するため。

2. ともち作戦も放射能を怖れて沖へ艦を一時退避

3. 自衛隊もしぶる危険地区へアメリカ上陸し、片付けたところへ自衛隊が投入され云々

で、中国や韓国の救助隊や支援には具体的な成果は示さないまま、温かく賞賛しているんですね。

なにこの偏向ぶり。

ええ、アメリカ様は自分の国益が最優先なのは独立以来、貫き通してますよ。

移民国家なのに、人種差別が未だに大きな社会問題ですしね。

今、アメリカが太平洋側の割けるだけの国力を提供して援助する利、政治的な戦略は、世界の片隅の一介の主婦にだってよく見えます。

だからといって、現場で危険を冒して救助活動している将兵たちは国策とか考えてないと思います。

目の前にいる困った人たちにできるだけ食糧と希望を運びたいと誰もが思っているはず。

中東やアフリカに送られて人殺しをしたり、ストレスから薬漬けになって捕虜を虐待するよりも、ずっと崇高でやりがいのある仕事じゃないですか。

軍隊が人を助け、守る組織に変化していくという、現代の奇跡を目の当たりにして、なにも反米姿勢をむき出しにしないで。

艦隊が放射能の危険性を回避したのだから、まずは己の国民（艦隊勤務の将兵たち）の命と健康を優先しただけ。彼らを放射能にさらしたらアメリカの世論がどこへ飛ぶかわかりません。それは日本に

とつてもマイナスです。

放射能汚染域外に退避していても、被災地域に無人偵察機を飛ばしては、何万枚という写真を撮って、孤立している被災者がいないか絶えず検証していたことは報道されていない。

毎日、朝から晩まで艦隊を動かし、航空機を飛ばすのに、いったい何億ドルかかるのか、それも考慮に入れたほうがいい。

ちなみに、アメリカに限らずどこの国でも国益が最優先なのは政府の義務です。

日本だけです。血税を反日国に垂れ流しているのは。海外で政変や災害があっても、すぐに在地国民を国外退避させたためのチャーター便をしぶるのも日本くらい。

国益と国民の安全が国家の最優先事項だというのは世界の認識だと思いますが。

実はこの救助合戦ともいうのでしょうか、日本というほころびかけた綱を米中で引き合い、周りが息をひそめて見守っている構図に見えるのは私だけでしょうか。

震災回復後の日本がどちらに転ぶかで、世界地図の勢力図が大きく塗り替えられ、太平洋側の歴史の方向が定まるのですから。

日本に指導力ある政治家が育たないのは、戦後GHQの日本人洗脳政策完遂後、ニッキョーソの民主共産主義を放置して手を引いてしまったアメリカに責任もあるんだけども。

よく考えたら、日本は昔、全面降伏をしてアメリカ様に占領されたわけなんだから、アメリカにしてみたら今でもアメリカ領なのかもしれない。

日本帝国が台湾も朝鮮も日本領だと思って、学校やインフラに国民の血税持ち出し赤字覚悟で出血サービスしたのと同じ感覚？

戦前戦中にあれだけ戦争を煽った朝日新聞が今も日本のメジャーなメディアでいられるのは、アメリカのお陰じゃなかったのかな。

とにかく、マスコミは分担して各国救助隊の活動を密着取材して流してくれたりいい。

救助と一口に言っても、状況や必要とされている機材や技術は多様でそれぞれ専門がある。

どんな人々が救助隊、支援隊として要求されているのか、『被災』の現実はどう人間は立ち向かっていくのか、彼らの活動を詳細に知ること、今後の災害の備えにもなる。

そして日本には世界に誇れる自衛隊（最初の3日間で1万6千人救出！ 睡眠3時間）があるんだと、正当に評価して欲しい。

某サイトでは、この災害救助に使われている自衛隊（やアメリカ軍）の秘密兵器をどんどん紹介していて、日本にこんなすごいものがあったのかと、兵器だと思っていたものに、こんな使い道があったのかと驚かされる。

## 朝日新聞の偏向報道はつくづく偏向している（後書き）

こんなときに不謹慎かなと思いますが……。

どっちかを選べと言われたら、中華人民共和国日本省または日本自治区になるよりは、アメリカ合衆国日本州のほうがいいです。ゆうちゅうぶも見れますし、好きなことを書いて、好きなものを読めて自由に海外旅行ができ、国民の権利を要求したからといって戦車でひき殺される心配もない。

（クーンツの小説など読むと、政府に都合の悪い人間は闇から闇へ葬られることになっていますが）  
そして災害が起これば艦隊ごと救助に来てくれる。

朝日新聞とか、民主党とか、どうして反米でしかも親恫喝国家なんでしょうねえ。理解できません。

もちろん、日本にはずっと『日本国』でありつづけていて欲しいです。

そして、そうあり続けるように、今日も早い復興を祈って赤道越しに祈っています。

## お知らせ

4月からこちら、沈黙しておりました鈴鹿ですが、こんなことに髪を振り乱しリアルで嵐のような毎日を送っております

「仔犬たちがやってきた」

<http://suzukanomori.blogspot.fc2.com/blog-category-10.html>

9匹の仔犬とその母犬に振り回された4ヶ月を、思い出しながら写真満載でブログにつづっています。

他にも狩猟が趣味の夫と次女のフリークな日々。

12kgの減量に成功したダイエットレシピと日記とか。

よろしければご訪問ください。

## 日本的なもの発見（前書き）

ただいま、日本に単身帰国中。

癌が末期になりつつある母の看護介護真っ最中ですが、家計も足りないので日本懐石料理のお店でバイトもしています。

久しぶりに日本で働いて、新発見の連続。

## 日本的なものの発見

何が日本的って。

そういえば、日本人でしか見ない髪形。

ニュージールランドじゃまず見ない。

欧米ではどうかはわからないけど、映画とかドラマを見る限り、見ないな。

どんな髪型かっていうと。

男性の髪型だ。

あの、右か左のどちらかの側頭の髪を伸ばして頭頂を超え、反対側に向かって撫でつける、いわゆる「バーコード頭」

接客中にお客様の頭をふと見下ろして、日本だなあ、と思いました。

筆者の夫は、前髪は激しく後退し、頭頂も薄いどころではないけども。

全体的に短く刈っている。

そういう髪型の人は多い。

白人は禿げやすいから、かえって気にしないんだろな。

もともと、量だけでなく、色も薄いから減っても見た目上心細くはならないのかもしれない。気がついたら手遅れとか。

紳士用かつらの宣伝はたまにテレビで見るから、気になる人は気に

なるようだ。

なるうでも、異世界ファンタジーに限らず金髪碧眼美形キャラをよく見かけるけども。

白人って、ほんと禿げるの早いから。

どうかすると十代の終わりからとかね。

鈴鹿は怒っているのだ。罰当たりめ！（前書き）

鈴鹿作品を読んでくださっている方はご存知でしょうが、11月の山陰は神在月です。

旧暦の10月、新暦の11月に帰省できた機会に、八百万の神々がお集まりになるといふ、出雲の神在祭を再び訪れてみました。

鈴鹿は怒っているのだ。罰当たりめ！

旧曆にしたがって神在月を開催する出雲大社の今年の神在祭りは1月初旬なので、見逃してしまいました。下忌みの祭りを毎年1月20日から1月25日に固定している佐太神社の神迎祭じんむかいまつりと神等去出祭かみゆきだしまつりにはお参りすることができました。

神々の使者である竜蛇神のあがる1月下旬の出雲地方は、大変天候が荒れます。

お忌み荒れという言葉もあるそうです。

だから、屋台を出される方々も、参詣者の方々も、非常に寒い思いをしながら雨宿り場所を求めつつ、八百万の神々のご利益にあやかりうとお祭りに参られるわけです。

しかし、この悪天候。

お祭りの始まる午後8時にはピタッと雨が上がり、天候が治まるのです。

不思議ですね。

そしてこの年も。

神迎祭神事が行われる境内に入ったところには、雨が上がりました。

神殿の背後にわだかまる杜のざわめきも、祭主と神職たちの一行がそれぞれの拝殿に参られる祭りの半ば頃には葉ずれの音すらしなくなりました。

神々がそれぞれの席につかれたのかなあと想像。

いろいろお願いしたいことはあつたんですが。

ただただもう、数キロ先の原発が崩壊するような地震が山陰でおきませんようにと祈ることしか。

その五日後の神等去出祭にも参りました。  
神議を終えられた八百万の神々を全国に送りだすお祭り。  
神社の近くの山に登り、山頂付近からお見送りします。

神事前の小雨がぴたつと上がり、境内での神事が行われました。  
そよ風すら吹きません。

杜は重苦しいほどに静かです。

神事が終わると、沈黙の提灯行列による夜の登山が始まります。  
詳細は小説「11月は神在月」にも書きましたけど。

細部がちよつと違っていたような。

私の記憶があやふやだったのが、年月の隔たりに微妙な変化があつたのかはともかく。

そのうち改稿するかもしれません。

いや、非常に厳かで、ご利益のありそうなお祭りでした。

毎年お宮で作られるという甘酒のお神酒も、おいしかったです。

で、鈴鹿が何を怒っているのかというと。

罰当たりなことをする参詣者がいるんですよ。

社務所、参拝所など、境内の電気照明をすべて消した中で、提灯のあえかな灯りを頼りに厳肅に行われている神聖な神事の最中に、カメラのフラッシュをばんばん閃かせるのです。

本来は撮影すら禁止なんです。

つか、神在祭は「お忌み祭り」ともいって、神々の祟りを恐れて人間は神妙に過ごすお祭りなんです。

神々を怒らせることなく、丁寧におもてなしし、送り出す。

それを珍しいお祭りだからと何か勘違いして、神々を鎮めるために沈黙の神事に打ち込んでいる神職さんたちに遠慮会釈なくフラッシ

コをたくさんです。

神等去出のクライマックスでもそうだったんですが。

「神事の間は懐中電灯は消してください。フラッシュは許可が出るまで使わないでください」

と案内されているにもかかわらず、やる人はやるんですね。

信仰心がどうとか以前に、長い歴史を伝えていくお祭り、日本と地域の伝統を、敬う気のない人間が神事に参加する理由がまったく理解できません。

というわけで、鈴鹿はちょっと（かなり）不快になってしまいました。

八百万の神々が日本人に愛想を尽かしてしまって、いつかこの地を神去ります日が訪れても、それはそれで仕方のないことかもしれないな、と。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2936o/>

---

ぶあつい文化の壁にはさまって

2011年11月28日01時46分発行